

あいちけんがいきこくじんけんみんあんけーとちょうさ
愛知県外国人県民アンケート調査

ほうこくしょ がいようばん
報告書【概要版】



へいせい ねん ねん がつ
平成29年(2017年)2月

あいちけん
愛知県

* * * * * もくじ * * * * *

I	ちょうさがいよう	調査概要	3
II	ちょうさけっか	調査結果	5
	1	かいとうしゃ ぞくせい 回答者の属性	
	①	せいべつ ねんれい こくせき きょじゅうち 性別・年齢・国籍・居住地	5
	②	しゅっしんこく 出身国	7
	③	ざいりゅうしかく 在留資格	7
	④	たいにちねんすう 滞日年数	8
	⑤	たいにちよてい 滞日予定	9
	⑥	どうきよしや 同居者	10
	⑦	けっこんあいて こくせき 結婚相手の国籍	11
	⑧	げんざいふあん 現在不安なこと	12
	⑨	そうだんさき 相談先	13
	⑩	じょうほうにゆうしゅさき 情報入手先	14
	⑪	せたいげっしゅう 世帯月収	15
	2	にほんごのうりよく 日本語能力などについて	
	①	にほんごのうりよく 日本語能力	16
	②	よめるもじ 読める文字	17
	③	にほんご がくしゅうじょうきょう 日本語の学習状況	18
	④	にほんご こま ぼめん 日本語で困る場面	19
	⑤	えいごのうりよく 英語能力	20
	3	しごと 仕事について	
	①	しゅうしょく てんしょく かん こんなん 就職や転職に関する困難	21
	②	げんざい しごと 現在の仕事について	22
	4	じゅうきょ 住居について	
	①	じゅうきょけいたい 住居形態	24
	②	いえ さが とき こま 家を探した時に困ったこと	25

5 :	子どもについて	
①	子どもの有無	26
②	子どもと会話する言語 (日本に18歳以下の子どもがいる方)	27
③	子どもに望む進路 (日本に18歳以下の子どもがいる方)	28
④	子育てに関する困難 (日本に18歳以下の子どもがいる方)	29
⑤	子どもの預け先 (日本に0歳から6歳の子どもがいる方)	30
⑥	通学状況 (日本に6歳から15歳の子どもがいる方)	31
⑦	普段の子どもの生活 (日本に15歳から18歳の子どもがいる方)	32
6 :	地震などの災害について	
①	この地域で地震が発生する可能性について	33
②	災害への備え	34
③	防災訓練の参加経験	35
7 :	地域や日本人との関わりについて	
①	地域活動への参加状況	36
②	日本人と仲良くなったきっかけ	37
③	日本人との交流希望	37
8 :	車について	
①	車の所有状況	38
9 :	行政サービスについて	
①	保険や年金の加入状況	39
②	行政サービスや施設の認知	40
③	行政への要望	41

I 調査概要

① 調査目的

日本人県民と外国人県民が共に暮らしやすい多文化共生のまちづくりを進めるために、外国人県民の現状及び課題、ニーズなどを把握し、施策推進の資料とします。

② 調査対象者

愛知県内で外国人県民の多い上位16市に居住する満20歳以上の外国人県民を無作為に8,000人抽出。

【対象市】

名古屋市・豊橋市・岡崎市・一宮市・瀬戸市・半田市・春日井市・豊川市・碧南市・
刈谷市・豊田市・安城市・西尾市・小牧市・稲沢市・知立市

③ 調査方法と調査期間

郵送調査およびWEB調査
(調査票及びWEB調査用のログインIDを郵送し、後日調査票を返送するか、WEB上で回答。)
平成28年11月22日～同年12月13日

④ 主な調査項目

- 回答者の属性
(性別・年齢・国籍・居住地など)
- 日本語能力などについて
- 仕事について
- 住居について
- 子どもについて
- 地震などの災害について
- 地域や日本人との関わりについて
- 車について
- 行政サービスについて

⑤ 調査票言語

英語、ポルトガル語、中国語、フィリピン語、ベトナム語、スペイン語、インドネシア語、ネパール語、日本語(ふりがな付き)の調査票を使用しました。

⑥ 回収率

対象者8,000人 中の回収率 32.5% (対象者数8,000人中 2,603人)

実質回収率 33.4%

(転居等で調査票が届かなかった対象者を除いた実対象者数7,782人中 2,603人)

実質回収率

対象者数 A	転居等 B	実対象者数 C	回答者数			回収率 F/C
			郵送 D	WEB E	計 F=D+E	
8,000人	218人	7,782人	2,203人	400人	2,603人	33.4%

⑦ 報告書の表記について

- 本報告書の中の図の数値は、構成比(回答者数を母数(N=またはn=で表示)にした比率)を表しています。
- 構成比は小数点以下第2位で四捨五入しているため、表示した構成比の合計が100%にならない場合があります。
- 複数回答の表は「(複数回答)」、回答数に上限がある場合は「(回答〇つまで)」と表示しています。複数回答の比率の合計は100%を超えます。

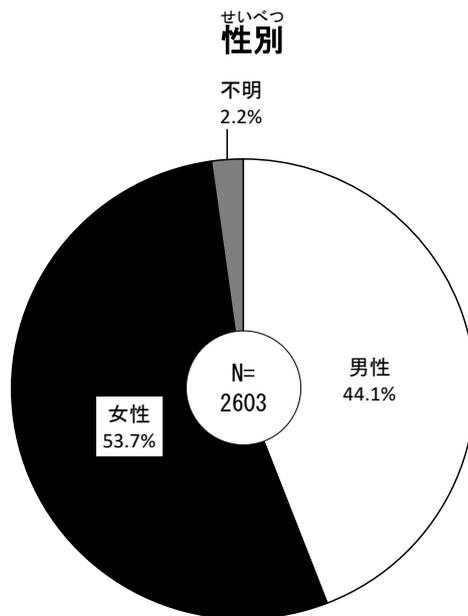
Ⅱ 調査結果

1 : 回答者の属性

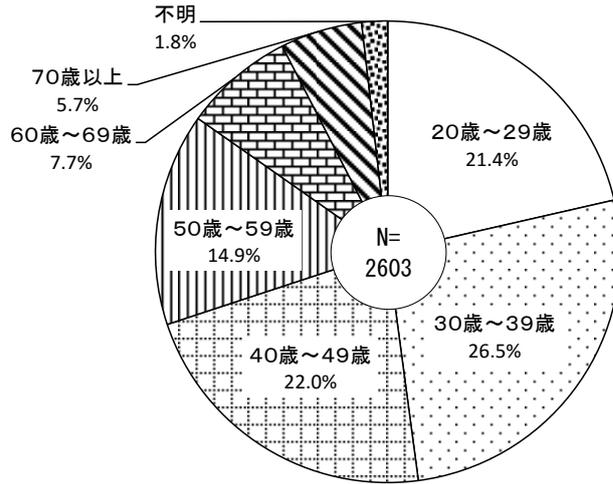
① 性別・年齢・国籍・居住地

- Q1. あなたの性別を教えてください。
- Q2. あなたの年齢は次のどれにあたりますか。
- Q3. あなたの国籍は次のどれですか。
- Q4. あなたは現在何市に住んでいますか。

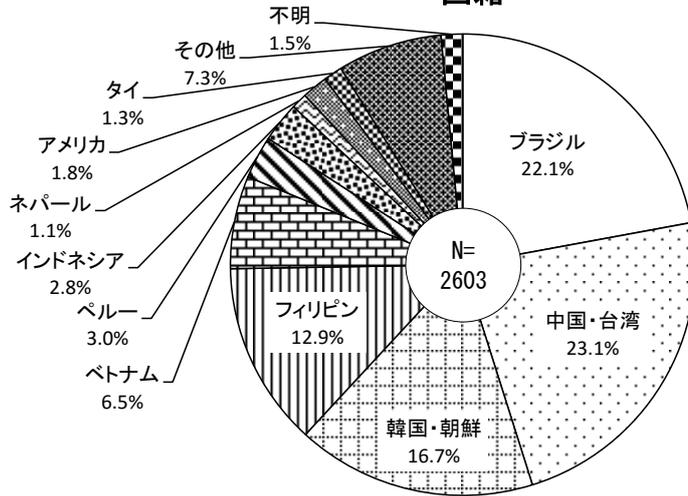
- 性別について尋ねたところ、「女性」が 53.7%、「男性」が 44.1%となっています。
- 年齢について尋ねたところ、「30代」が 26.5%と最も高く、次いで「40代」が 22.0%、「20代」が 21.4%となっています。
- 国籍について尋ねたところ、「中国・台湾」の割合が 23.1%と最も高く、次いで「ブラジル」が 22.1%、「韓国・朝鮮」が 16.7%、「フィリピン」が 12.9%となっています。
- 居住地について尋ねたところ、「名古屋市」の割合が 40.7%と最も高く、次いで「豊田市」が 8.5%、「豊橋市」が 7.3%、「岡崎市」が 6.0%となっています。



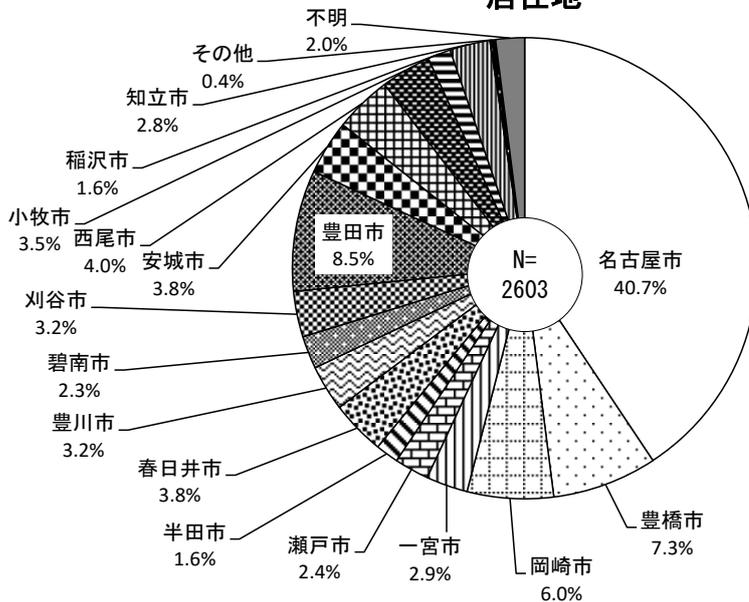
ねんれい
年齢



こくせき
国籍



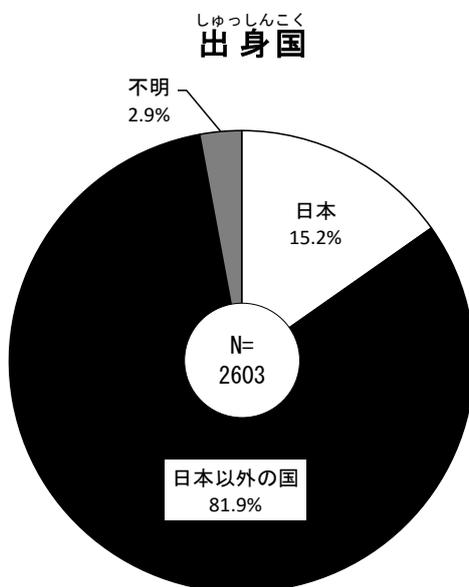
きょじゅうち
居住地



しゅっしんこく
②出身国

Q5. あなたが生まれた国はどこですか。

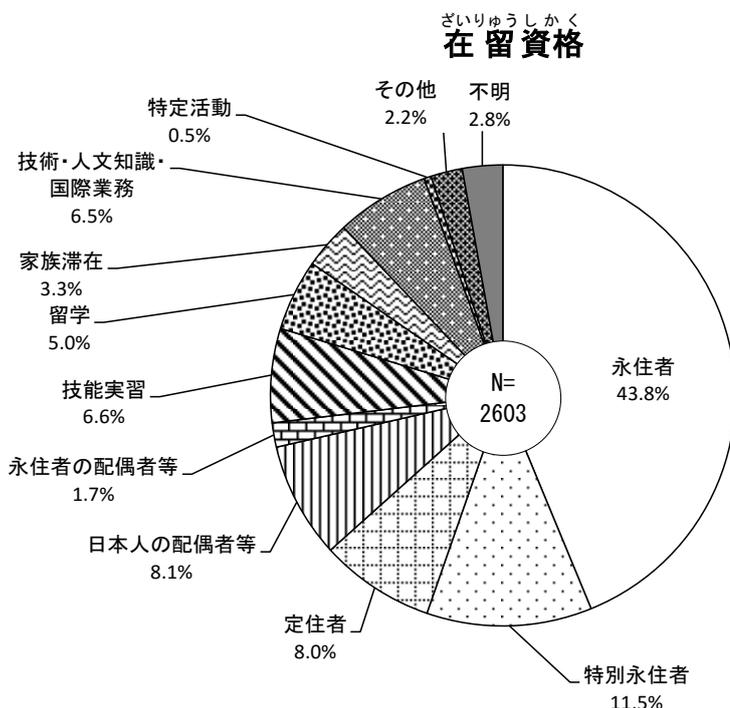
出身国について尋ねたところ、「日本以外の国」の割合が 81.9%で、「日本」が 15.2%となっています。



ざいりゅうしかく
③在留資格

Q6. あなたの在留資格は次のどれですか。

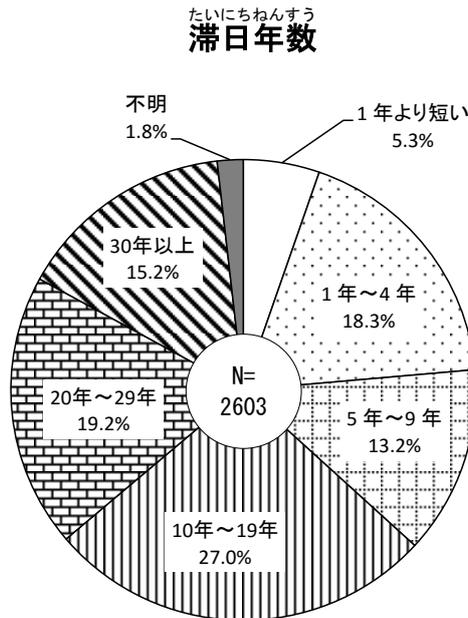
在留資格について尋ねたところ、「永住者」の割合が 43.8%と最も高く、次いで「特別永住者」が 11.5%、「日本人の配偶者等」が 8.1%、「定住者」が 8.0%となっています。



たいにちねんすう
④滞日年数

Q7. あなたは今まで、何年日本に住んでいますか。
何回も来日された方は合計した年数で教えてください。

・滞日年数について尋ねたところ、「10年～19年」の割合が27.0%と最も高く、次いで「20年～29年」が19.2%、「1年～4年」が18.3%となっています。



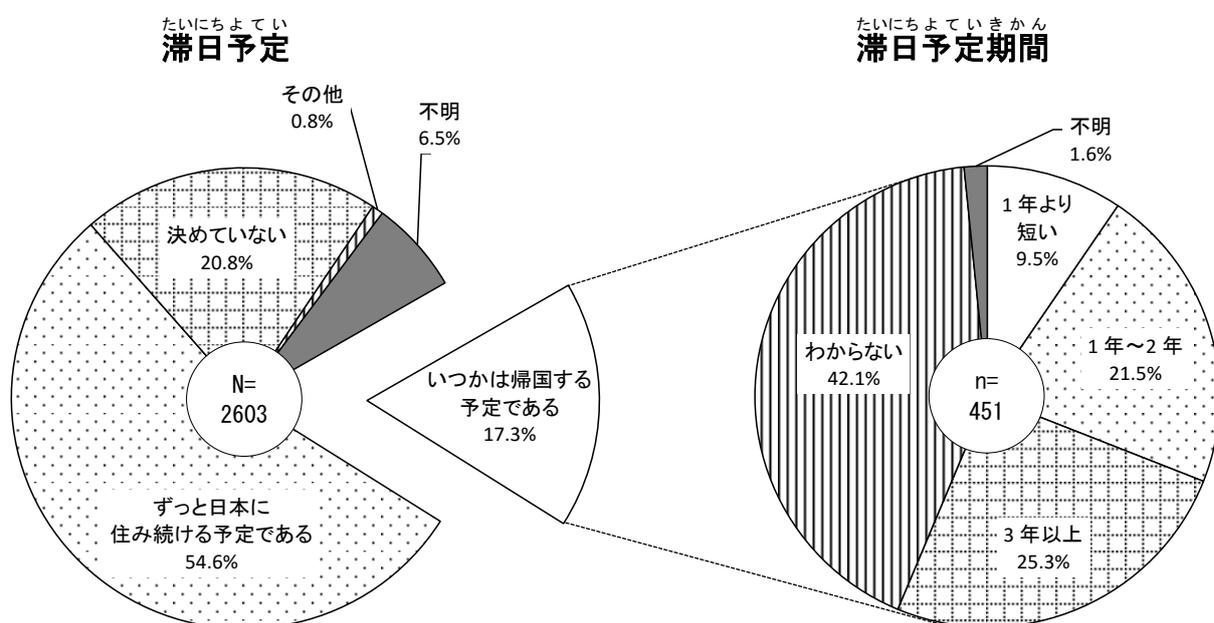
たいにちよてい
⑤滞日予定

Q8. あなたは今後も日本に住み続ける予定ですか。

└ (「いつかは帰国する予定である」と回答の方)

Q8-1 今後、日本にどれくらいの期間、住む予定ですか？

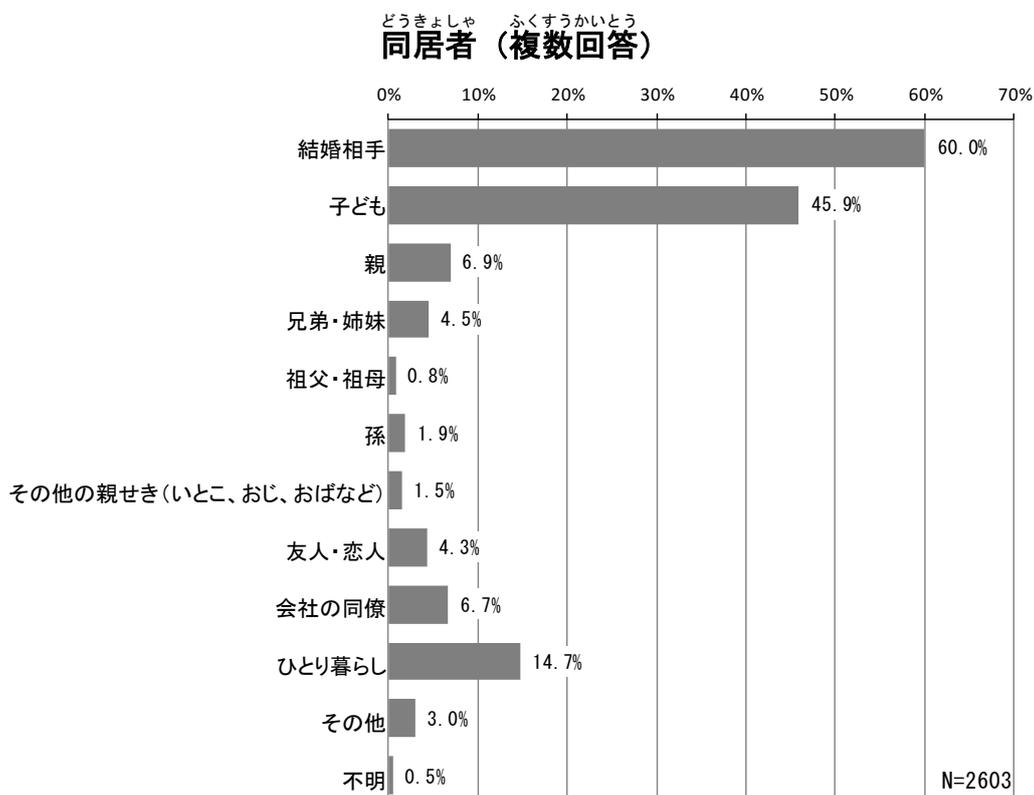
- ・滞日予定について尋ねたところ、「ずっと日本に住み続ける予定である」の割合が54.6%と最も高く、次いで「決めていない」が20.8%、「いつかは帰国する予定である」が17.3%となっています。
- ・滞日予定に「いつかは帰国する予定である」と答えた方に限定して、滞日予定期間を尋ねたところ、「わからない」の割合が42.1%と最も高く、次いで「3年以上」が25.3%、「1年～2年」が21.5%となっています。



どうきょしゃ
⑥同居者

Q9. 現在、誰と一緒に住んでいますか。

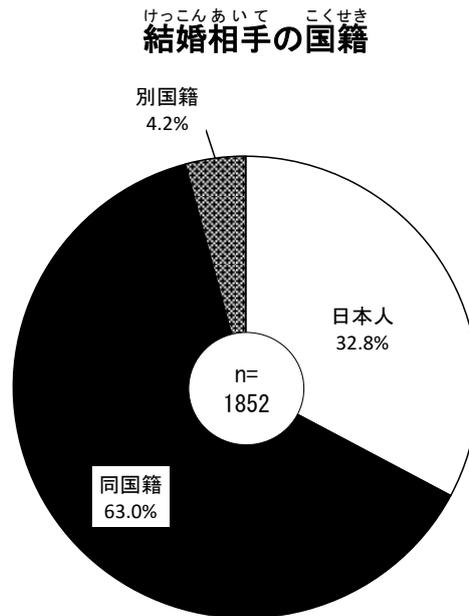
同居者について尋ねたところ、「結婚相手」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「子ども」が 45.9%となっています。また、「ひとり暮らし」の割合は 14.7%となっています。



⑦ 結婚相手の国籍

Q10. 結婚している方にお聞きします。あなたの結婚相手の国籍は何ですか。

- 結婚相手の国籍について尋ねたところ、「同国籍」の割合が 63.0%と最も高く、次いで「日本人」が 32.8%となっています。
- 性別で見ると、「日本人」と回答した割合は「女性」が 44.0%であり、「男性」の 18.2%の2倍以上となっています。

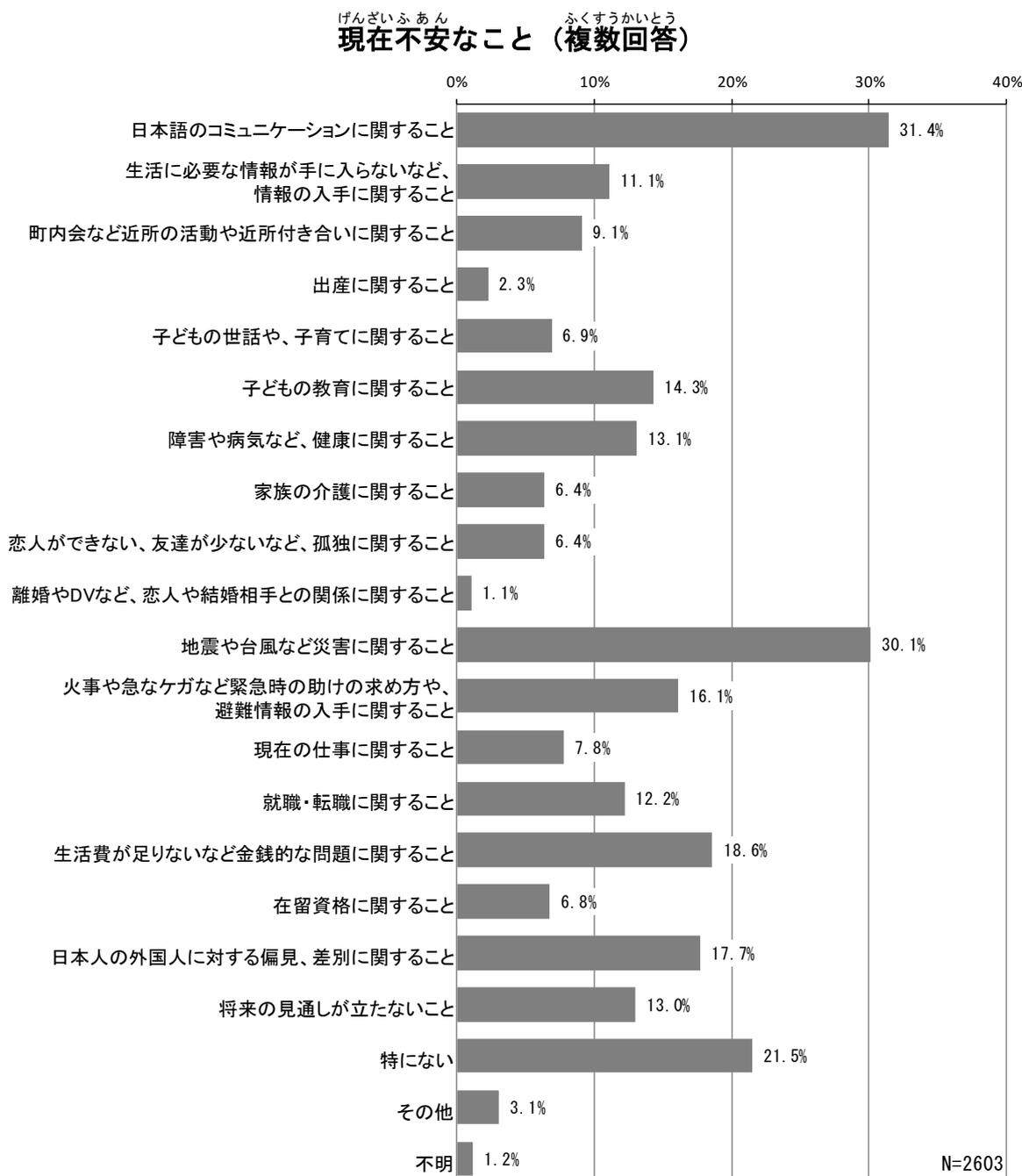


※無回答及び「その他」の記述内容が現在未婚であることを示すものを除いた 1852 件を調査対象としています。

げんざいふあん ⑧現在不安なこと

Q11. あなたが現在不安に感じていること、困っていることはありますか。

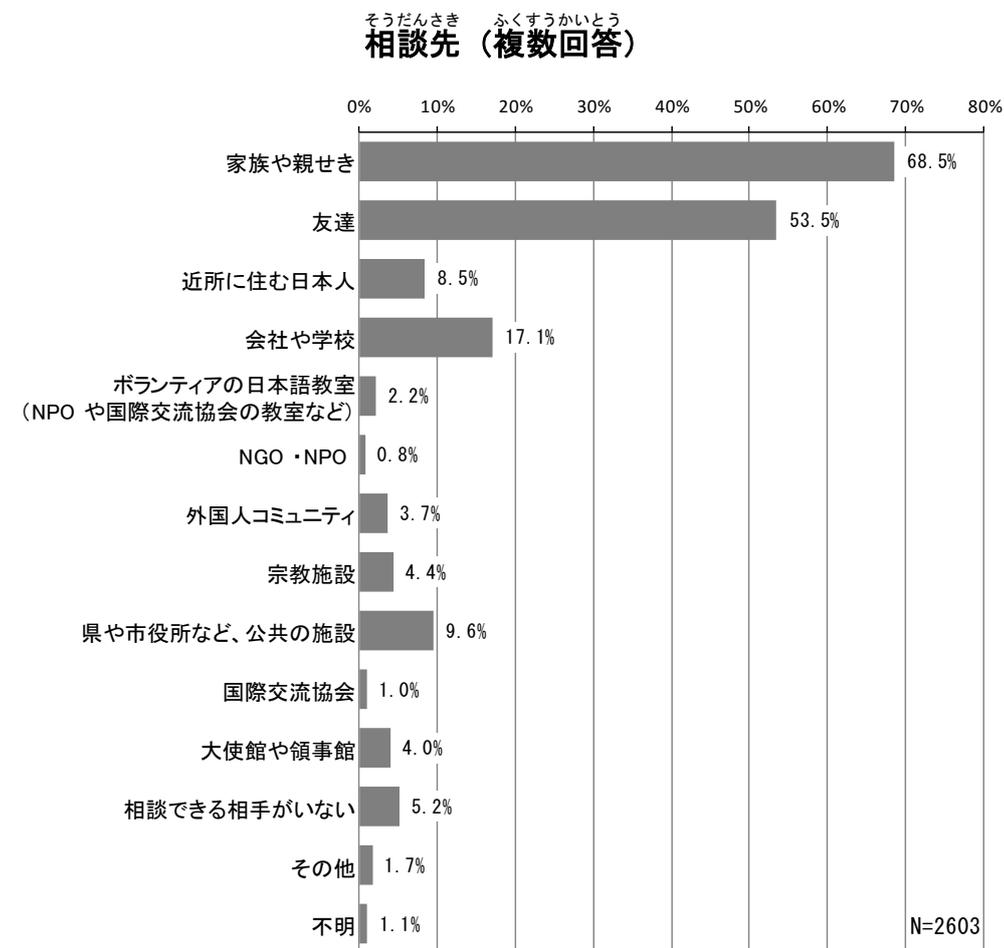
・現在不安に感じていることについて尋ねたところ、「日本語のコミュニケーションに関すること」が31.4%と最も高く、次いで「地震や台風など災害に関すること」が30.1%、「生活費が足りないなど金銭的な問題に関すること」が18.6%となっています。また、「特にない」の割合は21.5%となっています。



⑨ **相談先**

Q12. あなたが日常生活で困った時に相談するのはどこ（または誰）ですか。

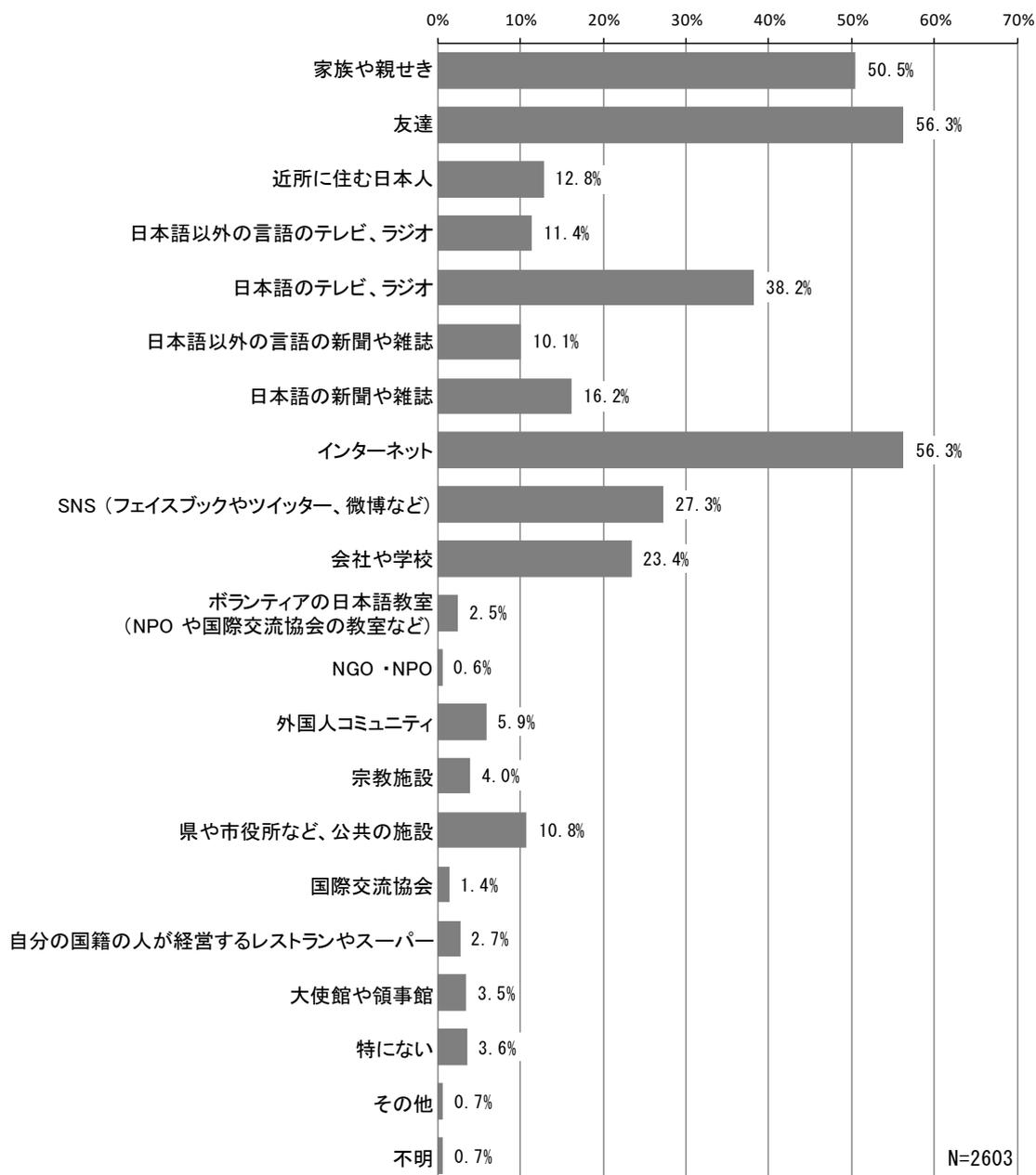
・日常生活で困った時の相談先について尋ねたところ、「家族や親せき」の割合が68.5%と最も高く、次いで「友達」が53.5%、「会社や学校」が17.1%となっています。



Q13. あなたは何を通して生活に必要な情報を得ていますか。

- 生活に必要な情報の入手先について尋ねたところ、「友達」及び「インターネット」の割合がそれぞれ 56.3%と最も高く、次いで「家族や親せき」が 50.5%、「日本語のテレビ、ラジオ」が 38.2%となっています。

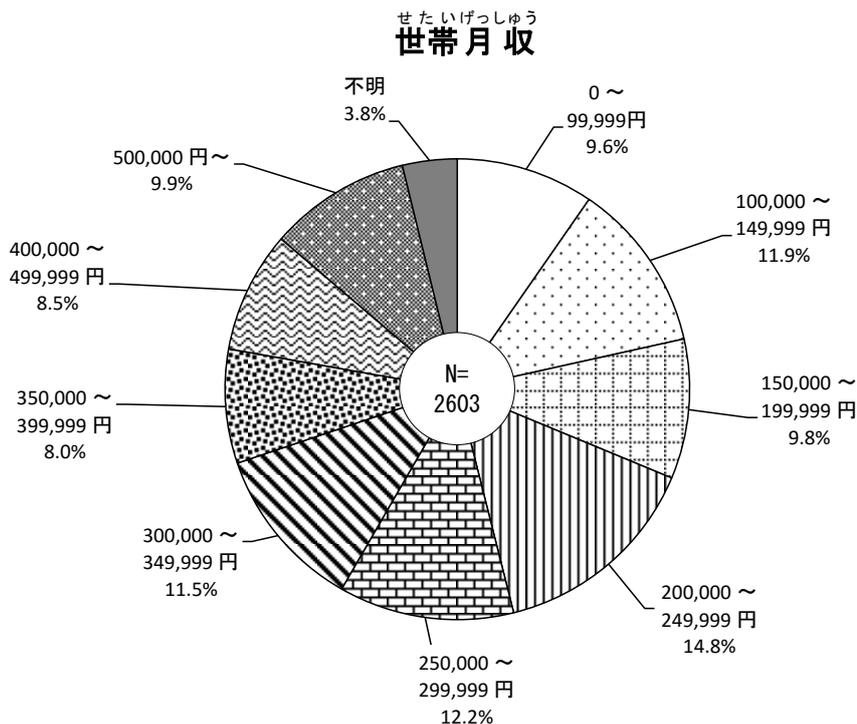
じょうほうにゆうしゆさき ふくすうかいとう
情報入手先 (複数回答)



⑪ 世帯月収

Q14. あなたの家族全体の月収はだいたいいくらですか。
 (一緒に住んでいる家族の月収を合計した金額)

- 世帯月収について尋ねたところ、「200,000～249,999円」の割合が 14.8%と最も高く、次いで「250,000～299,999円」が 12.2%、「100,000～149,999円」が 11.9%、「300,000～349,999円」が 11.5%となっています。



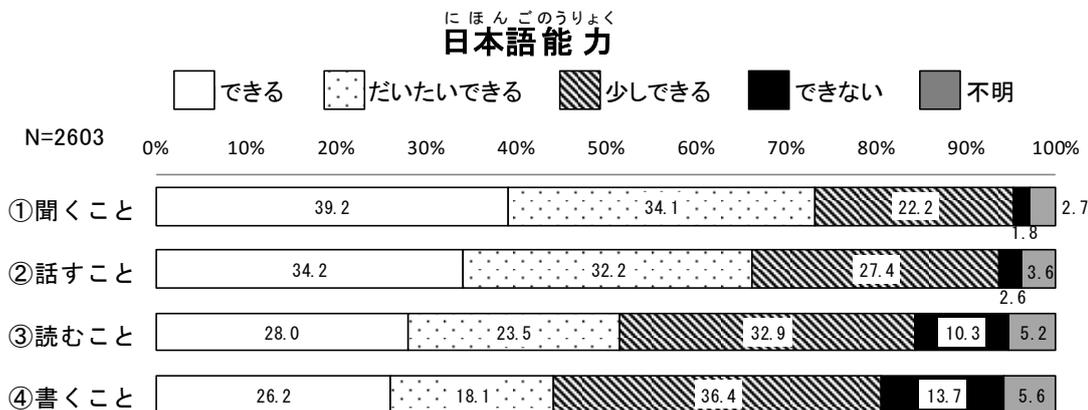
にほんごのうりよく 2:日本語能力などについて

にほんごのうりよく ①日本語能力

Q15. あなたの日本語能力について教えてください。

①聞くこと ②話すこと ③読むこと ④書くこと

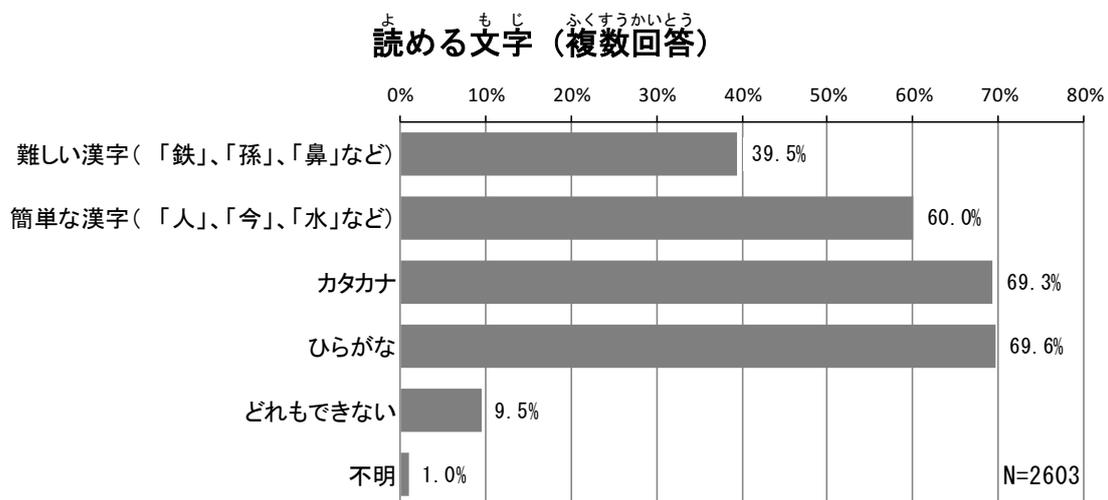
- 日本語能力を、「①聞くこと」「②話すこと」「③読むこと」「④書くこと」のそれぞれで見ると、「できる」の割合は「①聞くこと」が 39.2%、「②話すこと」が 34.2%、「③読むこと」が 28.0%、「④書くこと」が 26.2%となっています。
- 「①聞くこと」「②話すこと」「③読むこと」「④書くこと」を比較して見ると、「①聞くこと」→「②話すこと」→「③読むこと」→「④書くこと」の順に「できる」の割合が低くなっており、逆に「できない」の割合が高くなっています。



② 読める文字

Q16. あなたは、どの文字を読むことができますか。

- 読める文字について尋ねたところ、「ひらがな」が 69.6%と最も高く、次いで「カタカナ」が 69.3%、「簡単な漢字（「人」、「今」、「水」など）」が 60.0%、「難しい漢字（「鉄」、「孫」、「鼻」など）」が 39.5%となっています。また、「どれもできない」は 9.5%となっています。



③ 日本語の学習状況

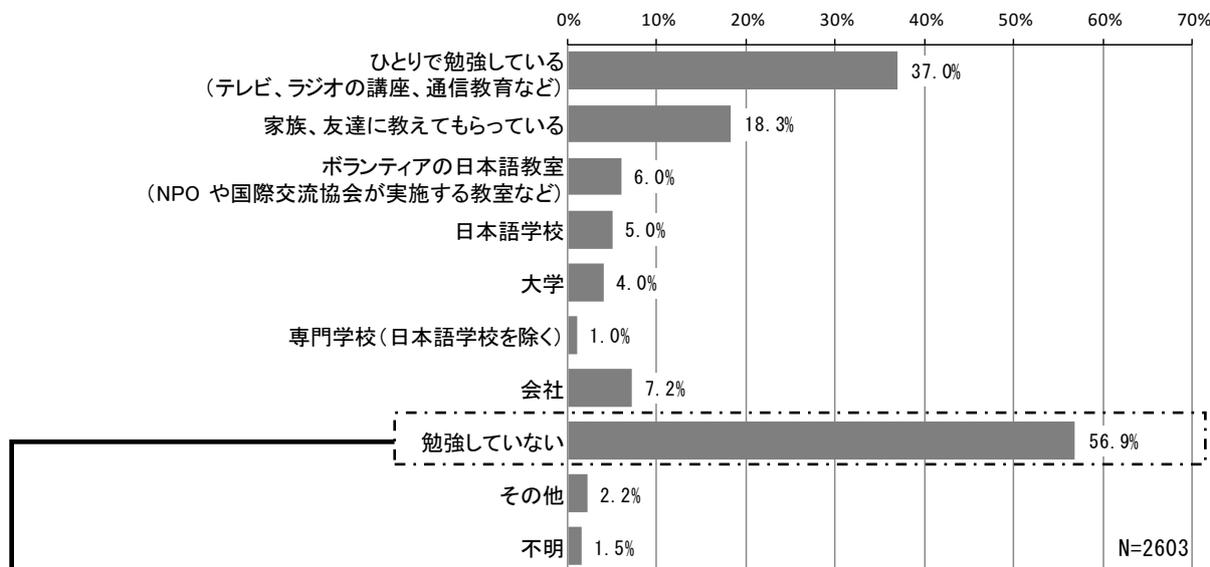
Q17. あなたは現在どこで日本語を勉強していますか。

↳ (「勉強していない」と回答の方)

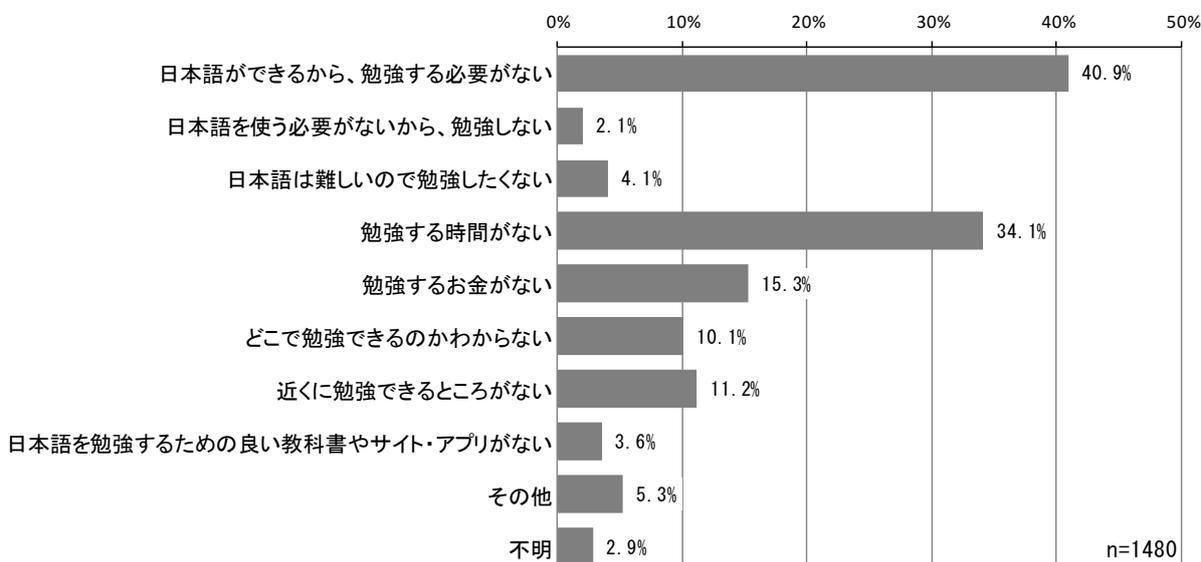
Q17-1 勉強していない理由は何ですか。

- 日本語の学習状況について尋ねたところ、「勉強していない」の割合が 56.9%と最も高く、次いで「ひとりで勉強している(テレビ、ラジオの講座、通信教育など)」が 37.0%、「家族、友達に教えてもらっている」が 18.3%となっています。
- 日本語の学習状況に「勉強していない」と答えた方に限定して、日本語を勉強していない理由を尋ねたところ、「日本語ができるから、勉強する必要がない」の割合が 40.9%と最も高く、次いで「勉強する時間がない」が 34.1%、「勉強するお金がない」が 15.3%となっています。

日本語の学習状況 (複数回答)



勉強していない理由 (複数回答)

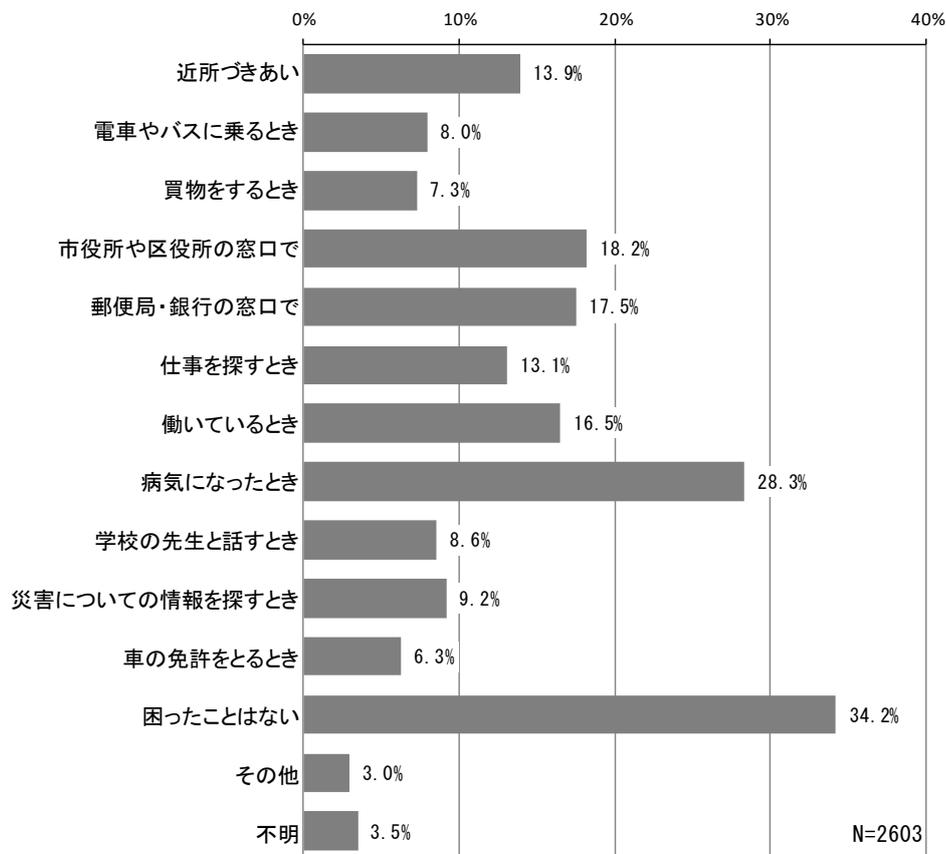


④ にほんご こま ばめん 日本語で困る場面

Q18. あなたは、どんな時に日本語で困りますか。
最近1年間で困った経験があるものを選んでください。

- 日本語で困る場面について尋ねたところ、「困ったことはない」の割合が 34.2%と最も高くなっています。困ったことがある方の中では、「病気になったとき」が 28.3%と最も高く、次いで「市役所や区役所の窓口で」が 18.2%、「郵便局・銀行の窓口で」が 17.5%となっています。

日本語で困る場面 (複数回答)



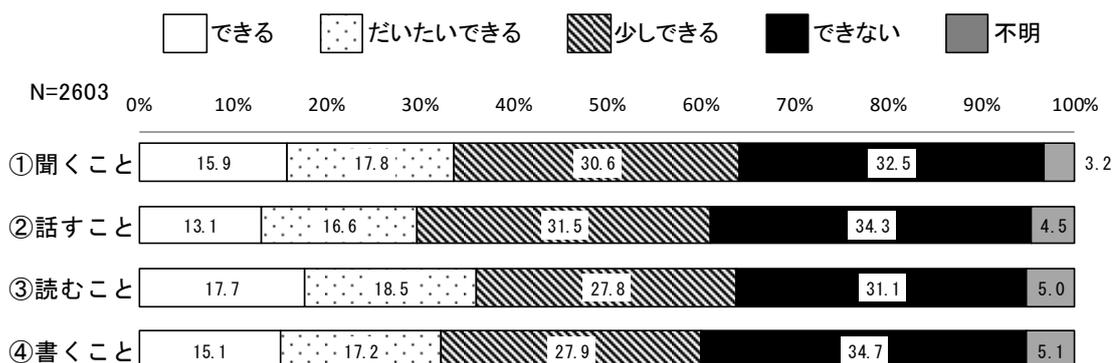
えいごのうりよく
⑤英語能力

Q19. あなたの英語能力について教えてください。

- ①聞くこと ②話すこと ③読むこと ④書くこと

英語能力を、「①聞くこと」「②話すこと」「③読むこと」「④書くこと」のそれぞれで見ると、「できる」の割合は「①聞くこと」が 15.9%、「②話すこと」が 13.1%、「③読むこと」が 17.7%、「④書くこと」が 15.1%となっています。

えいごのうりよく
英語能力



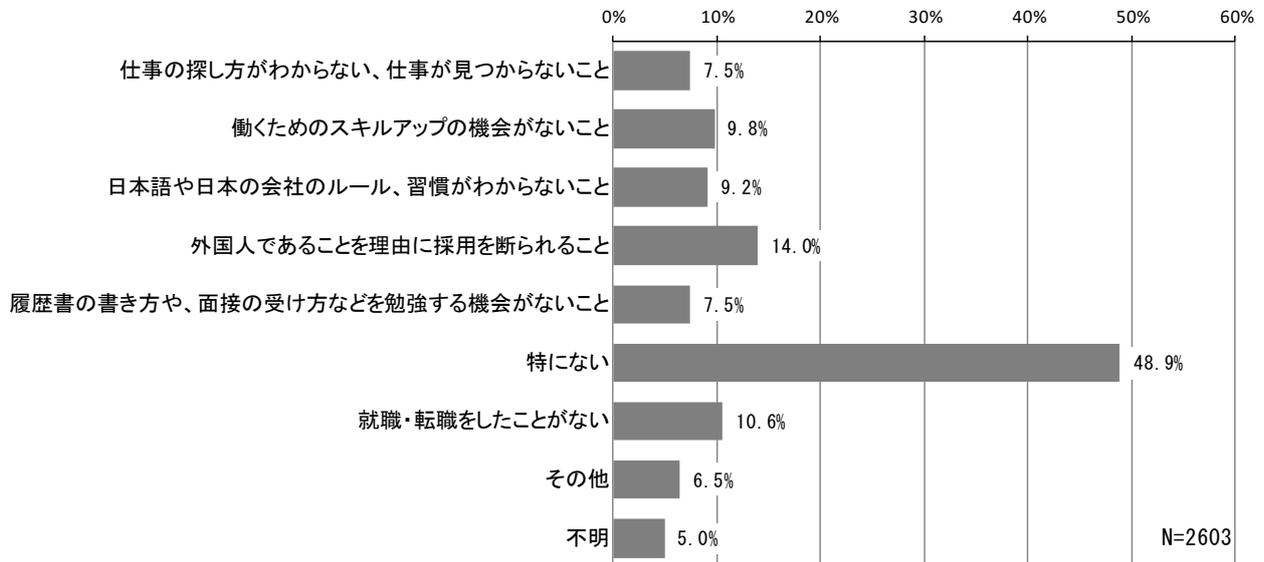
3:仕事について

① 就職や転職に関する困難

Q20. あなたは就職や転職に関して困っていること、困った経験をしたことはありますか。

・就職や転職に関する困難の経験について尋ねたところ、「特にない」が48.9%と最も高くなっています。困難の経験がある人の中では、「外国人であることを理由に採用を断られること」が14.0%と最も高く、次いで「働くためのスキルアップの機会がないこと」が9.8%、「日本語や日本の会社のルール、習慣がわからないこと」が9.2%となっています。

就職や転職に関する困難（複数回答）



②現在の仕事について

Q21. あなたの現在の仕事は、どのような業種ですか。

└ (現在働いている方)

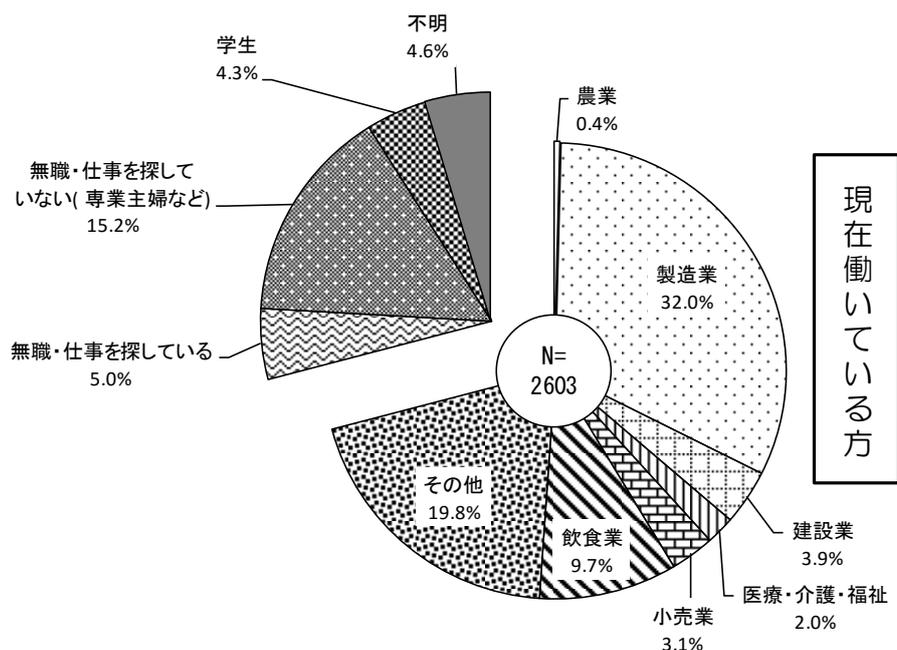
Q21-1 あなたの現在の仕事は、どのような雇われ方ですか。

Q21-2 あなたの現在の仕事は、どのように見つけましたか。

Q21-3 現在の仕事について困っていることはありますか。

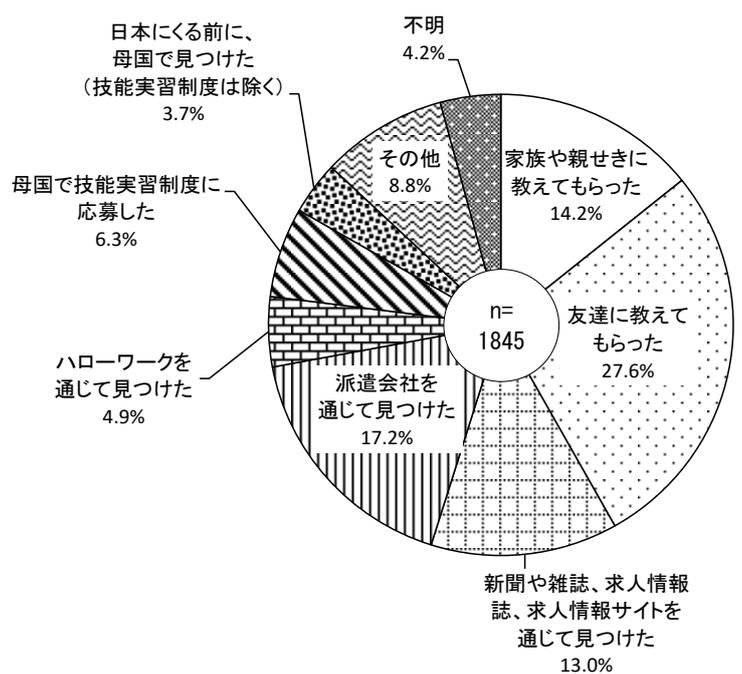
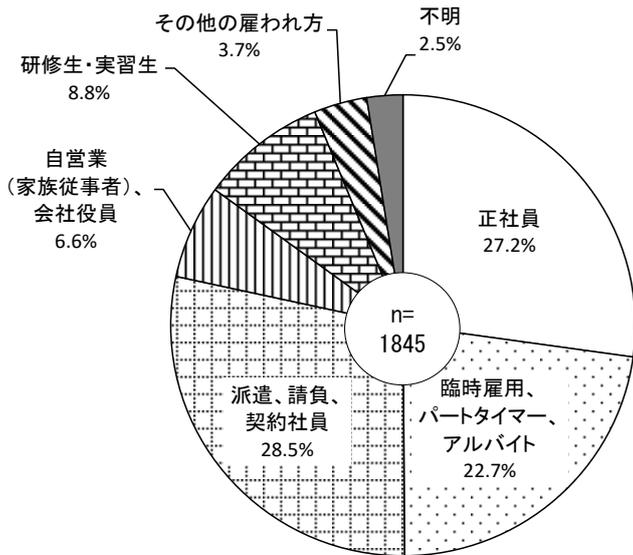
- 仕事の有無について尋ねたところ、現在働いている方が70.9%となっており、業種は「製造業」が32.0%と最も高く、次いで「飲食業」が9.7%、「建設業」が3.9%となっています。
- 現在働いている方に限定して現在の雇用形態を尋ねたところ、「派遣、請負、契約社員」の割合が28.5%と最も高く、次いで「正社員」が27.2%、「臨時雇用、パートタイマー、アルバイト」が22.7%となっています。
- 現在働いている方に限定して現在の仕事の見つけ方を尋ねたところ、「友達に教えてもらった」の割合が27.6%と最も高く、次いで「派遣会社を通じて見つけた」が17.2%、「家族や親せきに教えてもらった」が14.2%となっています。
- 現在働いている方に限定して仕事について困っていることを尋ねたところ、「特にない」の割合が41.7%と最も高くなっています。困っている方の中では「賃金が安いこと」が25.1%と最も高く、次いで「日本語でコミュニケーションがとれないこと」が15.9%、「正社員など安定した立場に生まれないこと」が13.1%となっています。

現在の仕事の有無と業種

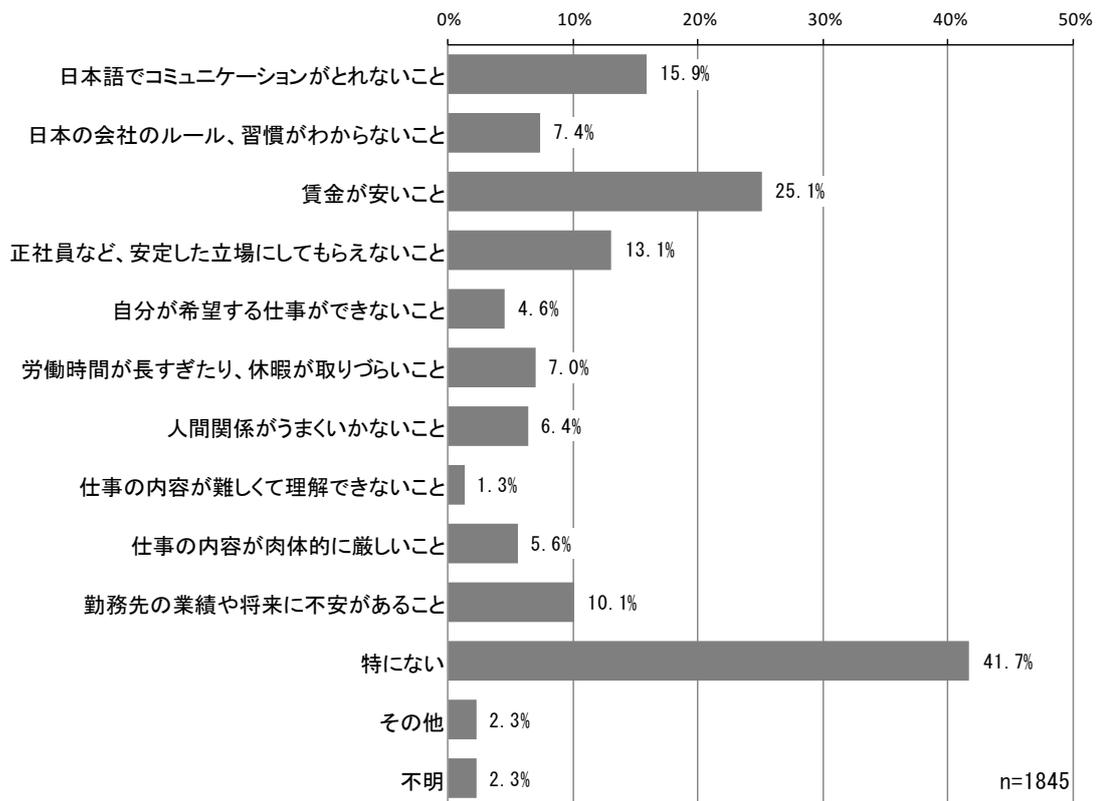


こようけいたい げんざいはたら かた
雇用形態 (現在働いている方)

しごと み かた げんざいはたら かた
仕事の見つけ方 (現在働いている方)



しごと こま げんざいはたら かた ふくすうかいとう
仕事について困っていること (現在働いている方) (複数回答)

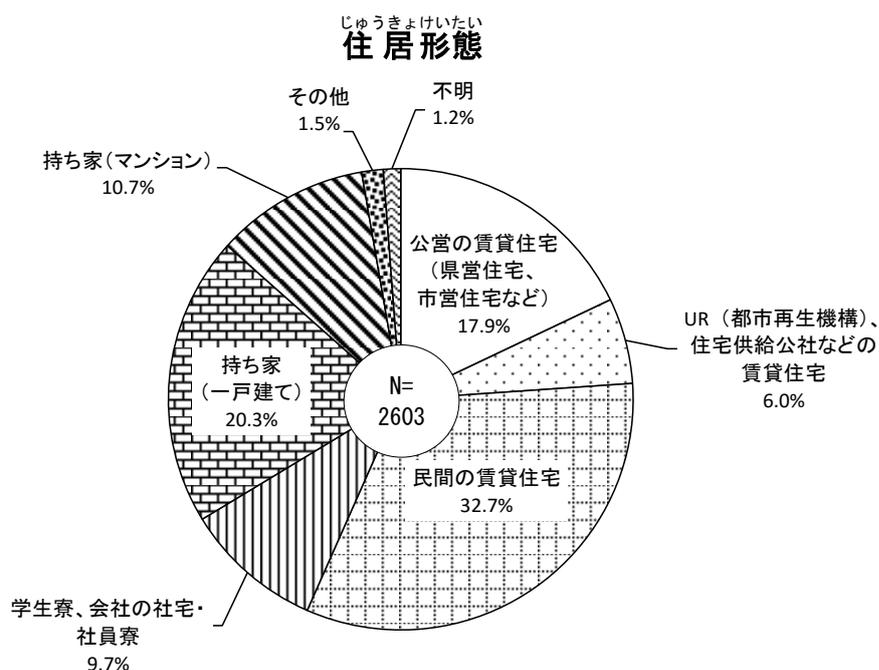


じゅうきよ 4:住居について

じゅうきよけいたい ①住居形態

Q22. あなたは現在どのような家に住んでいますか。

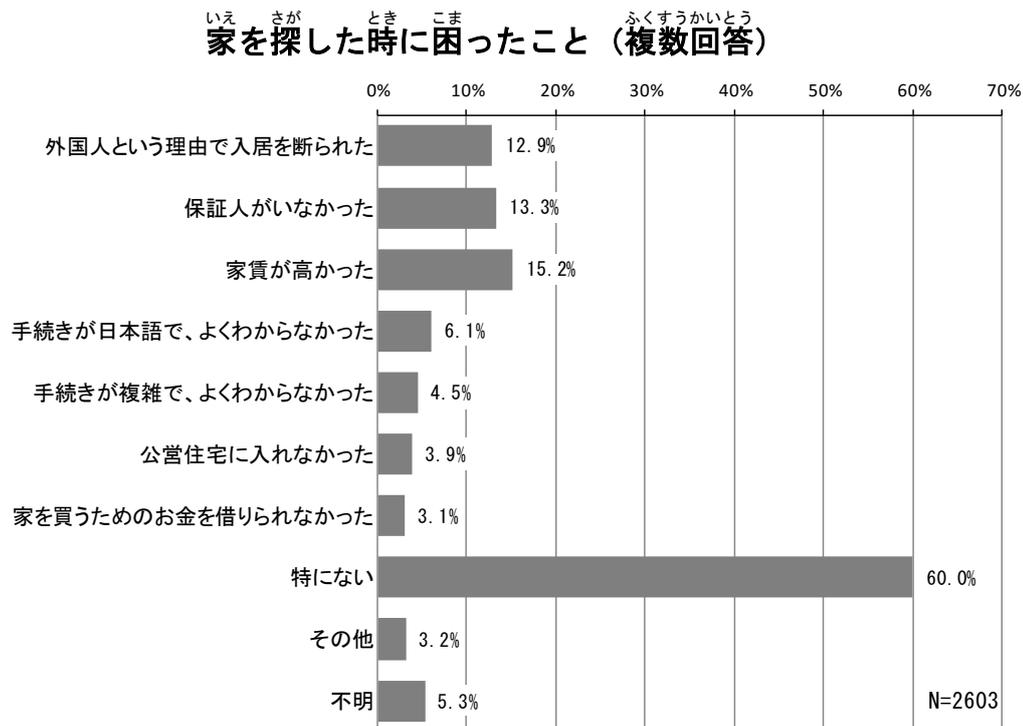
現在の住居形態について尋ねたところ、「民間の賃貸住宅」が32.7%と最も高く、次いで「持ち家（一戸建て）」が20.3%、「公営の賃貸住宅（県営住宅、市営住宅など）」が17.9%となっています。



② 家を探した時に困ったこと

Q23. 家を探したときに、困ったことはありますか。

家を探したときに困ったことについて尋ねたところ、「特にない」が60.0%と最も高くなっています。また、困ったことがある方の中では、「家賃が高かった」が15.2%と最も高く、次いで「保証人がいなかった」が13.3%、「外国人という理由で入居を断られた」が12.9%となっています。



5:子どもについて

①子どもの有無

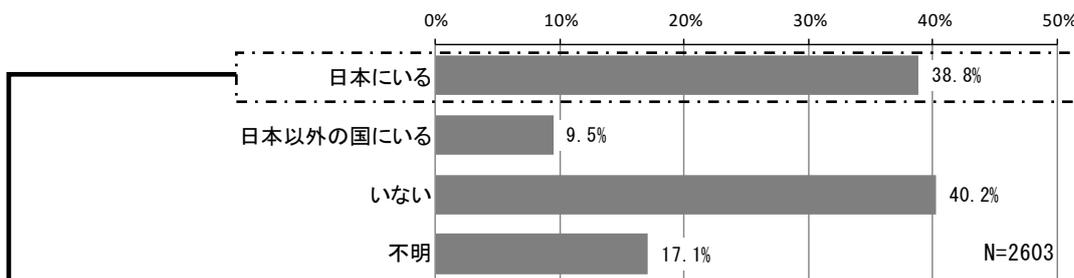
Q24. あなたには18歳以下の子どもがいますか。また、どこにいますか。

↳ (「日本にいる」と回答の方)

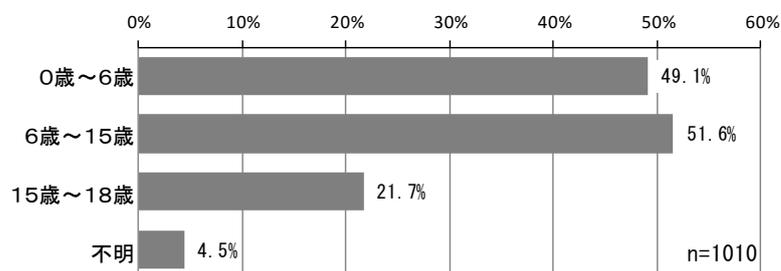
Q24-1 日本にいる子どもの年齢

- 18歳以下の子どもの有無について尋ねたところ、「いない」が40.2%と最も高く、次いで「日本にいる」が38.8%、「日本以外の国にいる」が9.5%となっています。
- 18歳以下の子どもが「日本にいる」と答えた方に限定して、「日本にいる」子どもの年齢を尋ねたところ、「6歳～15歳(2001年4月2日から2010年4月1日までに生まれた子ども)」が51.6%と最も高く、次いで「0歳～6歳(2010年4月2日以降に生まれた子ども)」が49.1%、「15歳～18歳(1998年4月2日から2001年4月1日までに生まれた子ども)」が21.7%となっています。

子どもの有無 (複数回答)



日本にいる子どもの年齢 (複数回答)

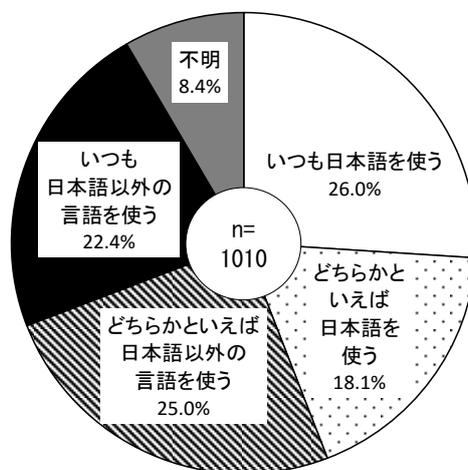


②子どもと会話する言語(日本に18歳以下の子どもがいる方)

Q25. あなたは子どもと何語で話しますか。

・日本に18歳以下の子どもがいると答えた方に限定して、子どもと会話する言語について尋ねたところ、「いつも日本語を使う」が26.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば日本語以外の言語を使う」が25.0%となっています。また、「いつも日本語を使う」と「どちらかといえば日本語を使う」の合計が44.1%であるのに対し、「いつも日本語以外の言語を使う」と「どちらかといえば日本語以外の言語を使う」の合計は47.4%となっています。

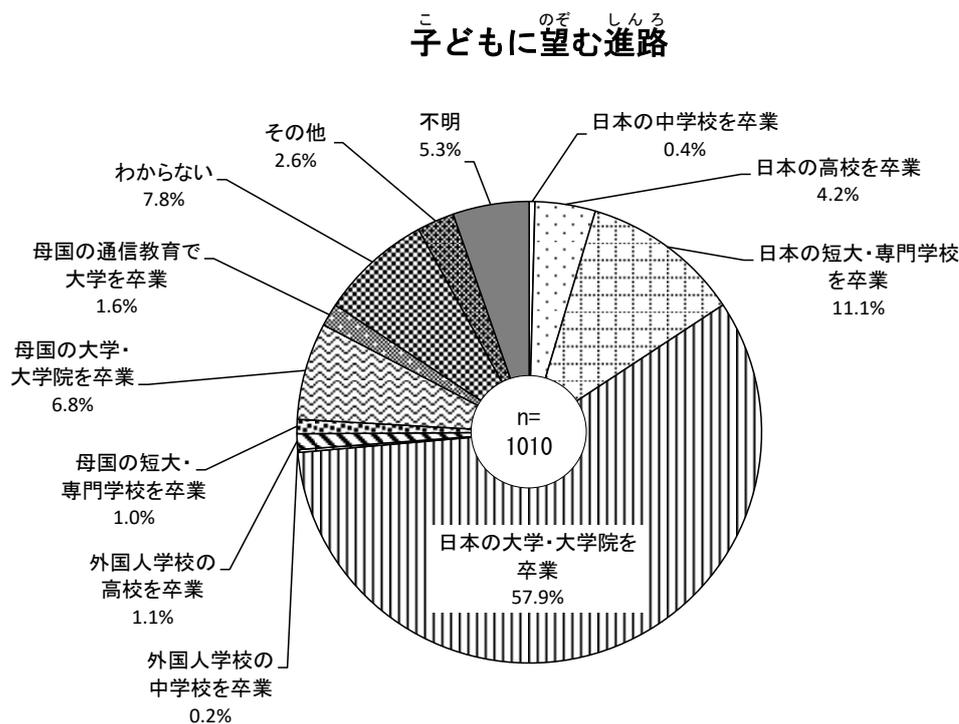
子どもと会話する言語



③子どもに望む進路(日本に18歳以下の子どもがいる方)

Q26. あなたは子どもにどこまで進学してほしいですか。

- ・日本に18歳以下の子どもがいると答えた方に限定して、子どもに望む進路について尋ねたところ、「日本の大学・大学院を卒業」が57.9%と最も高く、次いで「日本の短大・専門学校を卒業」が11.1%、「わからない」が7.8%となっています。
- ・また、日本の学校の卒業を希望している回答の割合は73.6%となっています(「日本の中学校を卒業」～「日本の大学・大学院を卒業」の合計)。

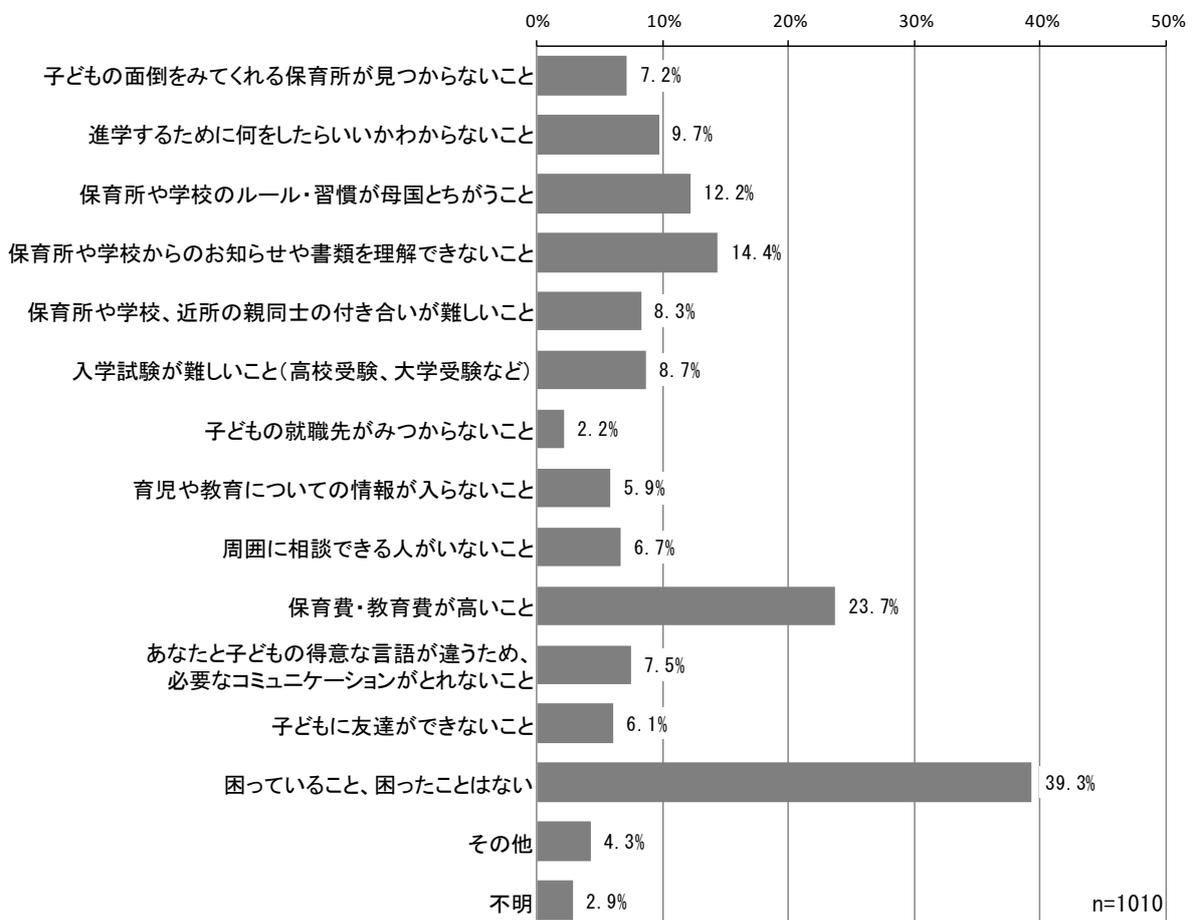


④ 子育てに関する困難(日本に18歳以下の子どもがいる方)

Q27. 子育てに関して困っていること、困った経験をしたことはありますか。

- ・日本に18歳以下の子どもがいると答えた方に限定して、子育てに関して困った経験について尋ねたところ、「困っていること、困ったことはない」が39.3%と最も高くなっています。
- ・困ったことがある方の中では、「保育費・教育費が高いこと」が23.7%と最も高く、次いで「保育所や学校からのお知らせや書類を理解できないこと」が14.4%、「保育所や学校のルール・習慣が母国とちがうこと」が12.2%となっています。

子育てに関する困難(複数回答)

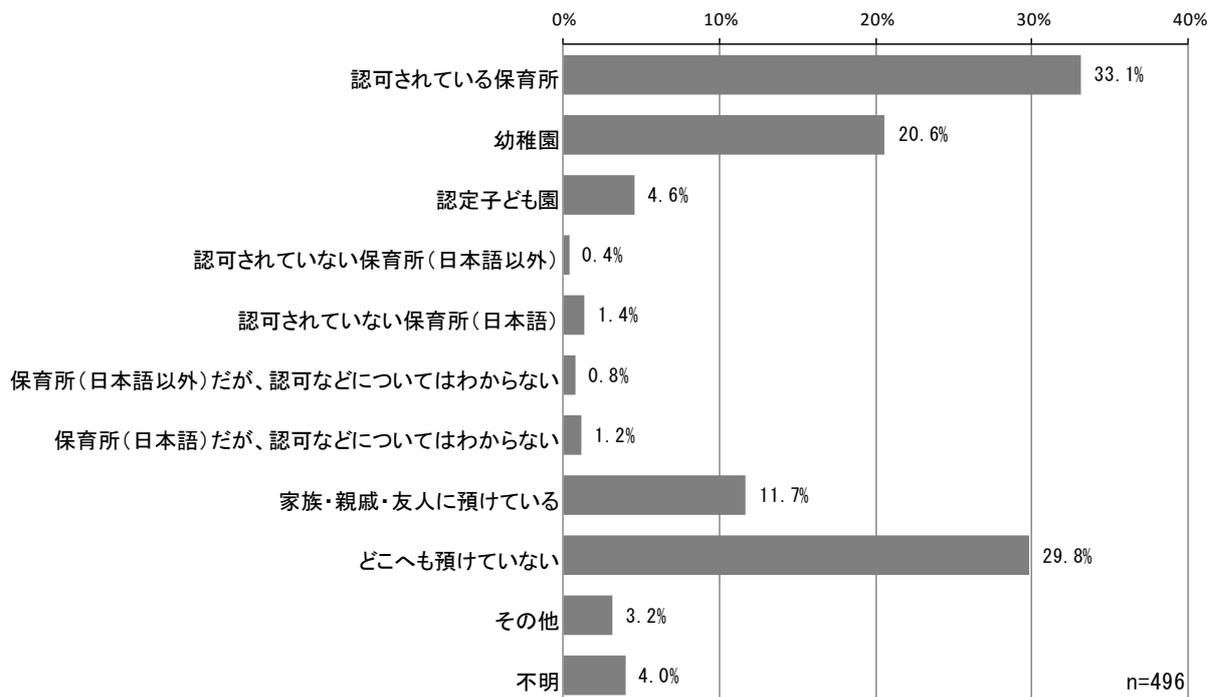


⑤子どもの預け先(日本に0歳から6歳の子どもがいる方)

Q28. 子どもを昼間どこかへ預けていますか。

・日本に0歳から6歳の子どもがいる方に限定して、子どもの預け先について尋ねたところ、「認可されている保育所」が33.1%と最も高く、次いで「幼稚園」が20.6%となっています。一方で、「どこへも預けていない」は29.8%、「家族・親戚・友人に預けている」は11.7%となっています。

子どもの預け先 (複数回答)



⑥通学状況(日本に6歳から15歳の子どもがいる方)

Q29. あなたの子どもは学校に行っていますか。

└(「行っている」と回答の方)

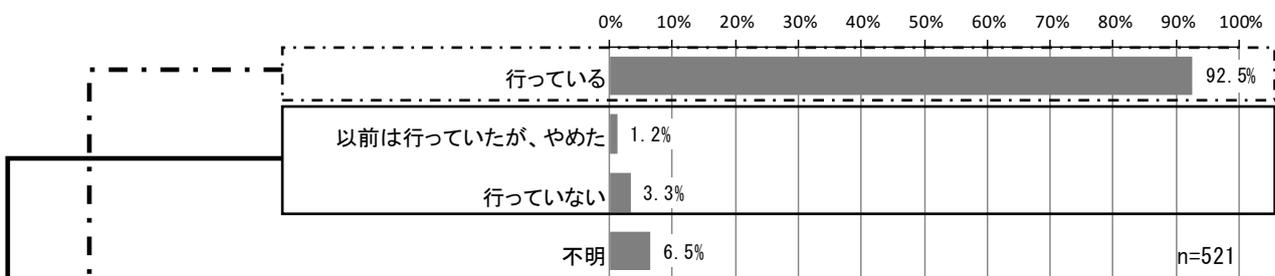
Q29-1 どの学校に行っていますか。

└(「以前は行っていたが、やめた」、「行っていない」と回答の方)

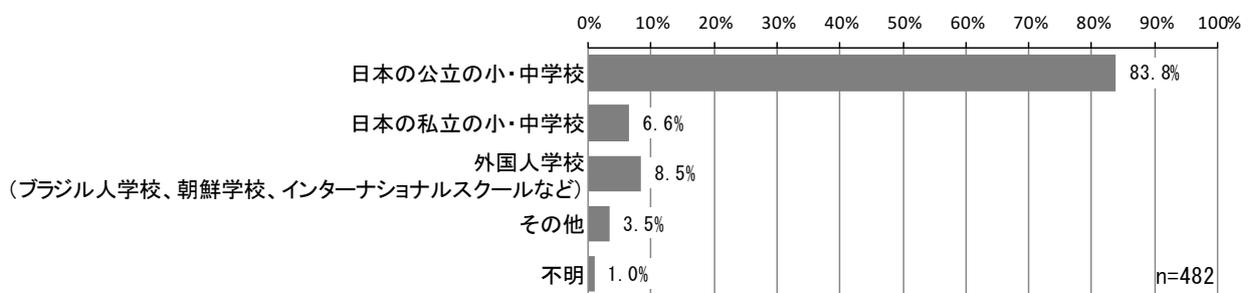
Q29-2 現在、学校に行っていない理由は何ですか。

- 日本に6歳から15歳の子どもがいる方に限定して、子どもの通学状況について尋ねたところ、学校に「行っている」が92.5%となっています。一方で、学校に「行っていない」は3.3%、「以前は行っていたが、やめた」は1.2%となっています。

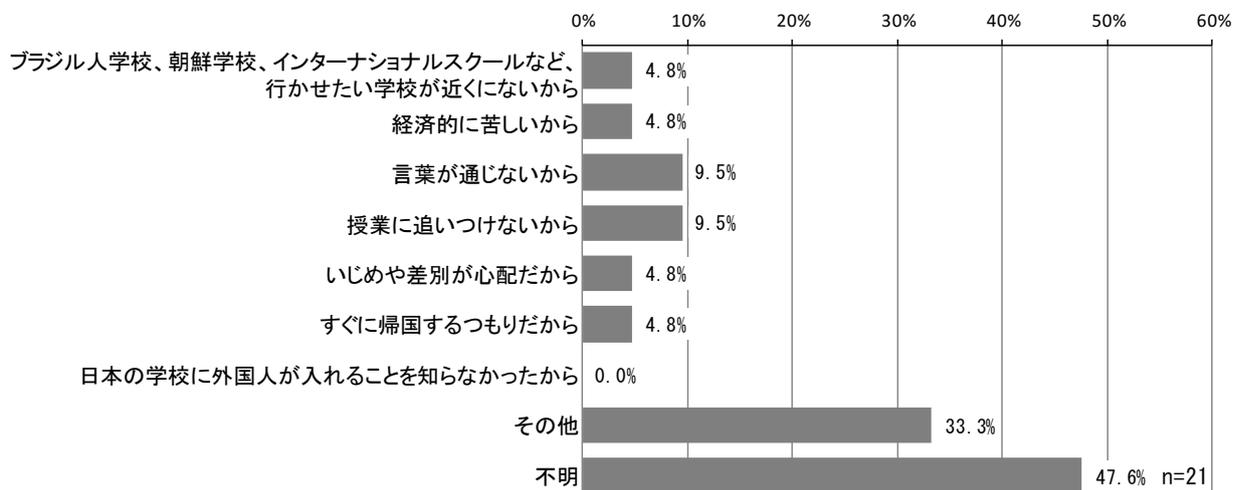
通学状況 (複数回答)



通学先 (複数回答)



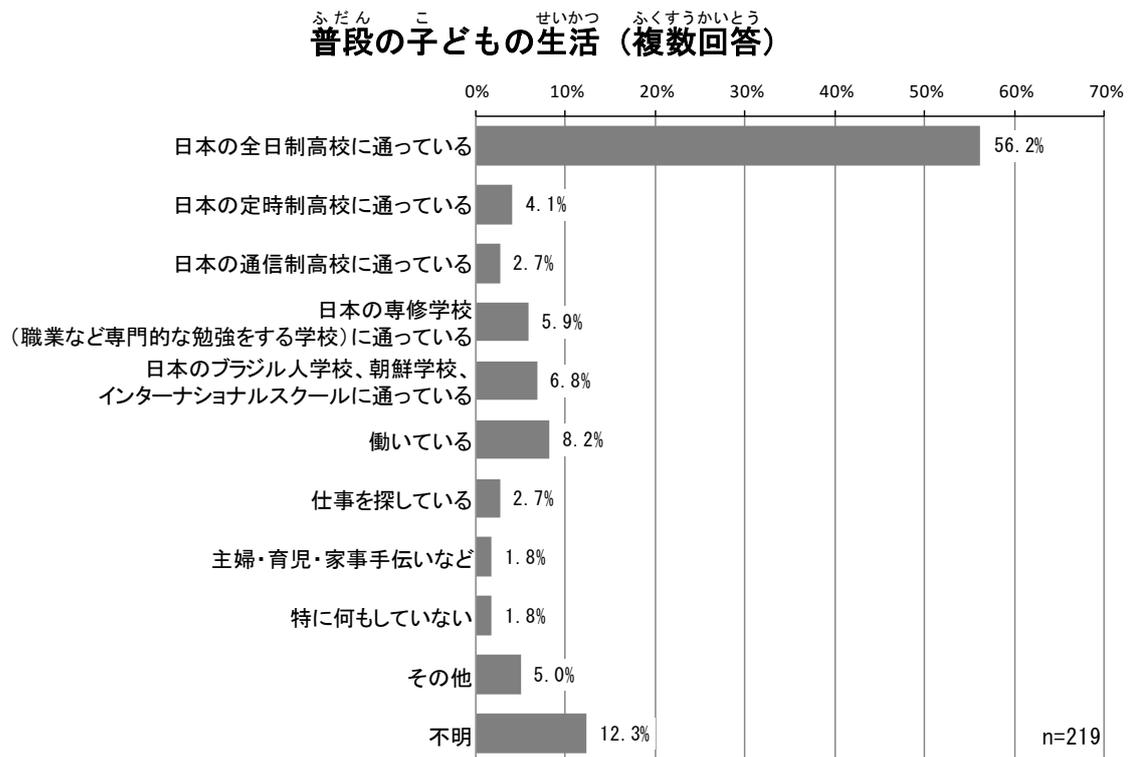
学校に行っていない理由 (複数回答)



⑦ 普段の子どもの生活(日本に15歳から18歳の子どもがいる方)

Q30. あなたの子どもは、普段何をしていますか

・日本に15歳から18歳の子どもがいる方に限定して、子どもの生活状況について尋ねたところ、「日本の全日制高校に通っている」が56.2%と最も高く、次いで「働いている」が8.2%、「日本のブラジル人学校、朝鮮学校、インターナショナルスクールに通っている」が6.8%となっています。



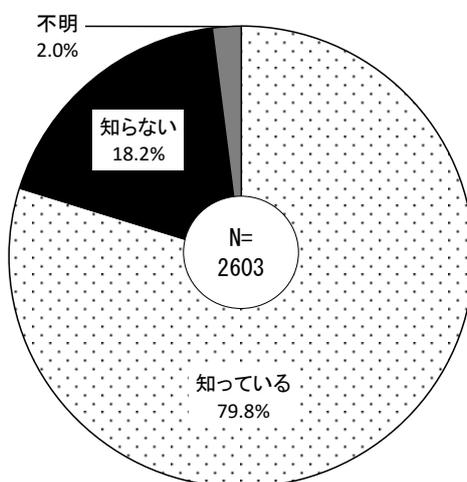
6:地震などの災害について

①この地域で地震が発生する可能性について

Q31. あなたは、この地域に大きな地震がくると考えられていることを知っていますか。

・この地域に大きな地震が発生する可能性について知っているかどうか尋ねたところ、「知っている」が79.8%、「知らない」が18.2%となっています。

この地域で地震が発生する可能性について

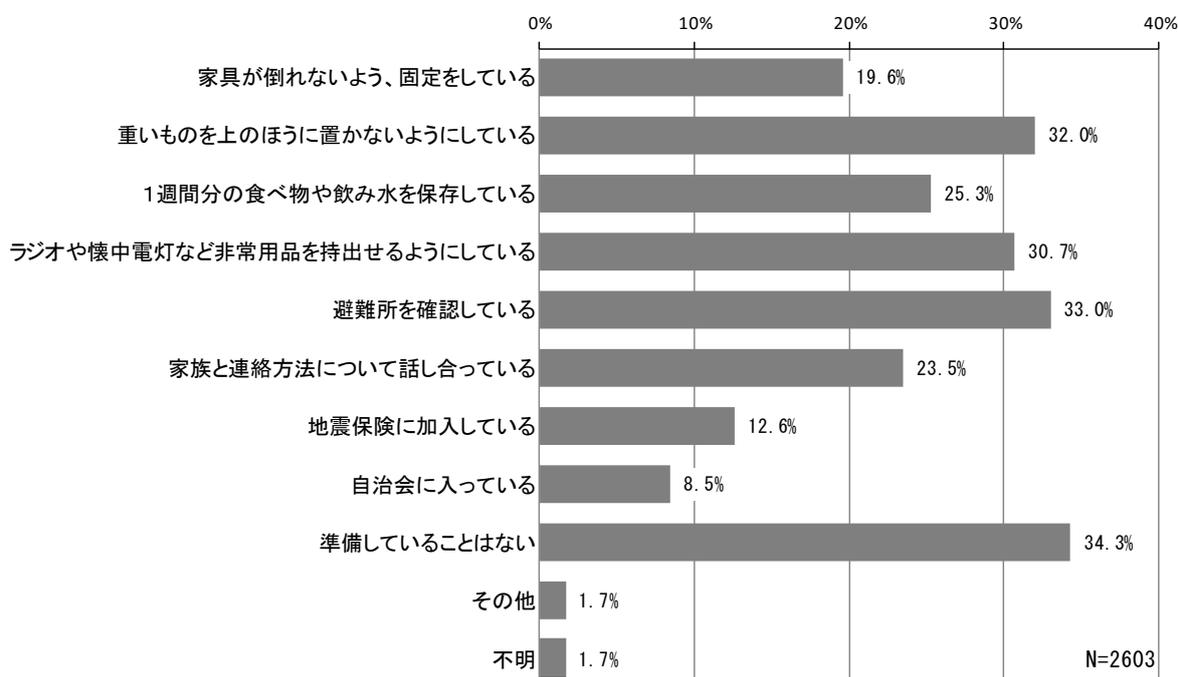


さいがい そな ②災害への備え

Q32. あなたが災害に備えて普段から準備していることはありますか。

- ・災害に備えて普段から準備していることについて尋ねたところ、「準備していることはない」が34.3%と最も高くなっています。
- ・準備していることがある人の中では、「避難所を確認している」が33.0%と最も高く、次いで「重いものを上のほうに置かないようにしている」が32.0%、「ラジオや懐中電灯など非常用品を持出せるようにしている」が30.7%となっています。

さいがい そな ふくすうかいとう 災害への備え（複数回答）



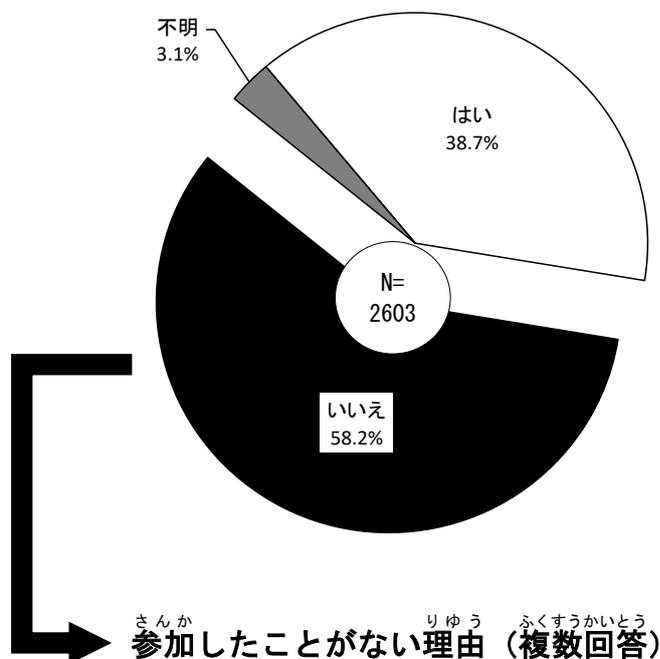
ぼうさいくんれん さん かけいけん
③防災訓練の参加経験

Q33. あなたは防災訓練に参加したことがありますか。
 L (「いいえ」と回答の方)

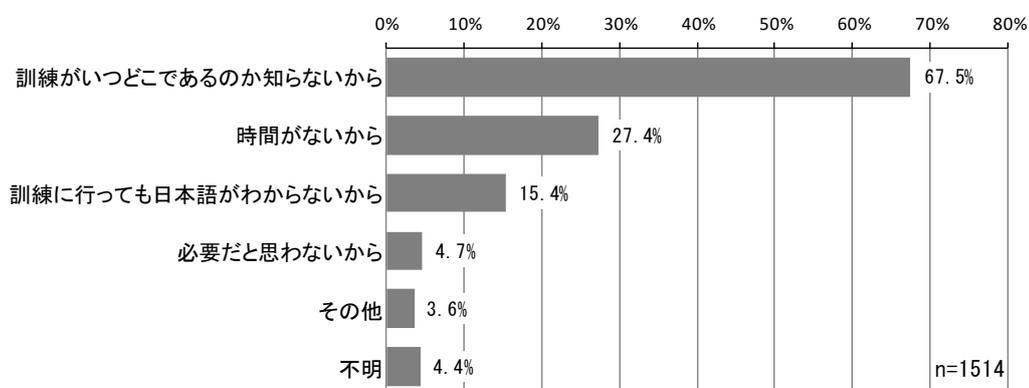
Q33-1 参加しない理由は何ですか。

- 防災訓練の参加経験について尋ねたところ、「はい」が 38.7%、「いいえ」が 58.2%となっています。
- 防災訓練の参加経験がない方に限定して、参加したことがない理由を尋ねたところ、「訓練がいつでもどこであるのか知らないから」が 67.5%と最も高く、次いで「時間がないから」が 27.4%、「訓練に行っても日本語がわからないから」が 15.4%となっています。

ぼうさいくんれん さん かけいけん
防災訓練の参加経験



さんか 参加したことがない理由 (複数回答)



ちいき にほんじん かか 7:地域や日本人との関わりについて

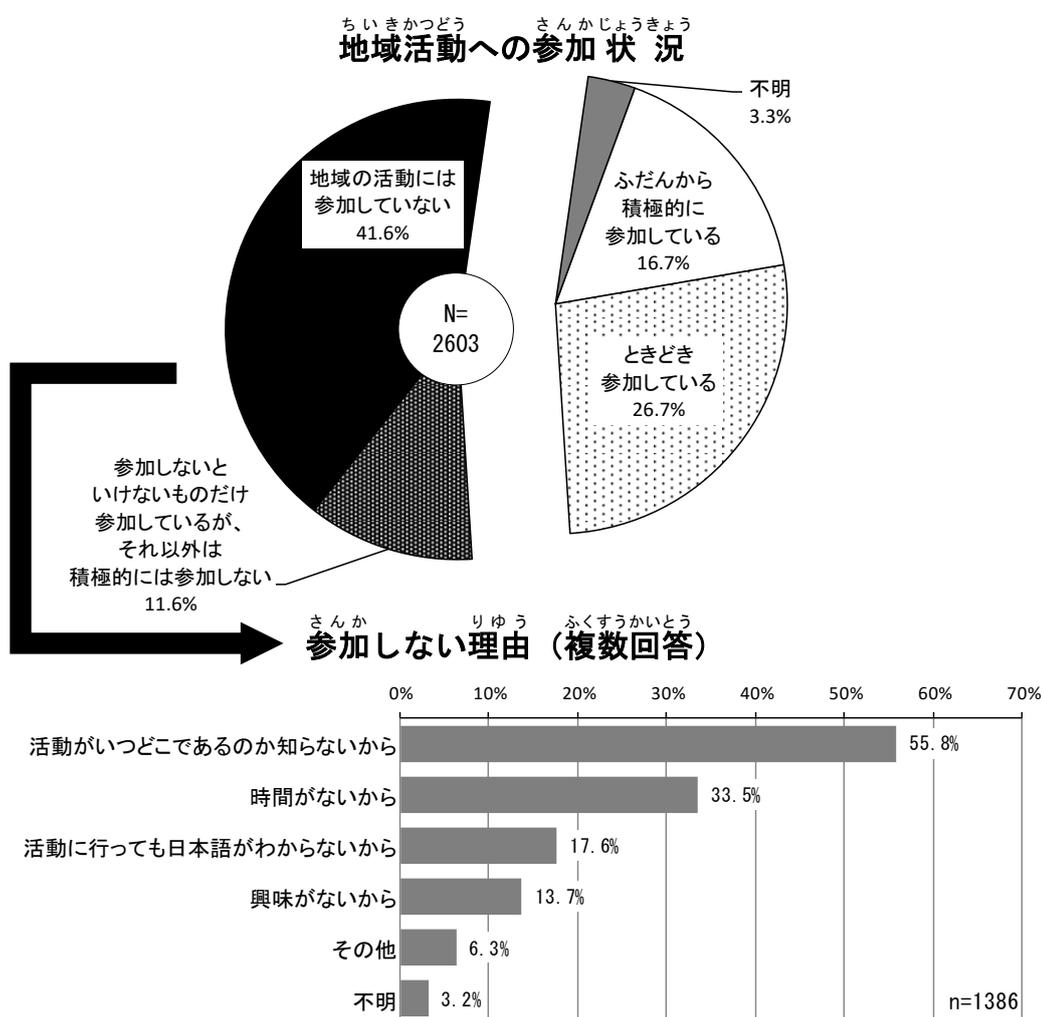
ちいきかつどう さんかじょうきょう ① 地域活動への参加状況

Q34. あなたは近所の清掃作業やお祭り、団地の自治会など、地域の活動に参加して
いますか。

（「参加しないとイケないものだけ参加しているが、それ以外は積極的に参加しない」、「地域の活動には参加していない」と回答の方）

Q34-1 参加しない理由は何ですか。

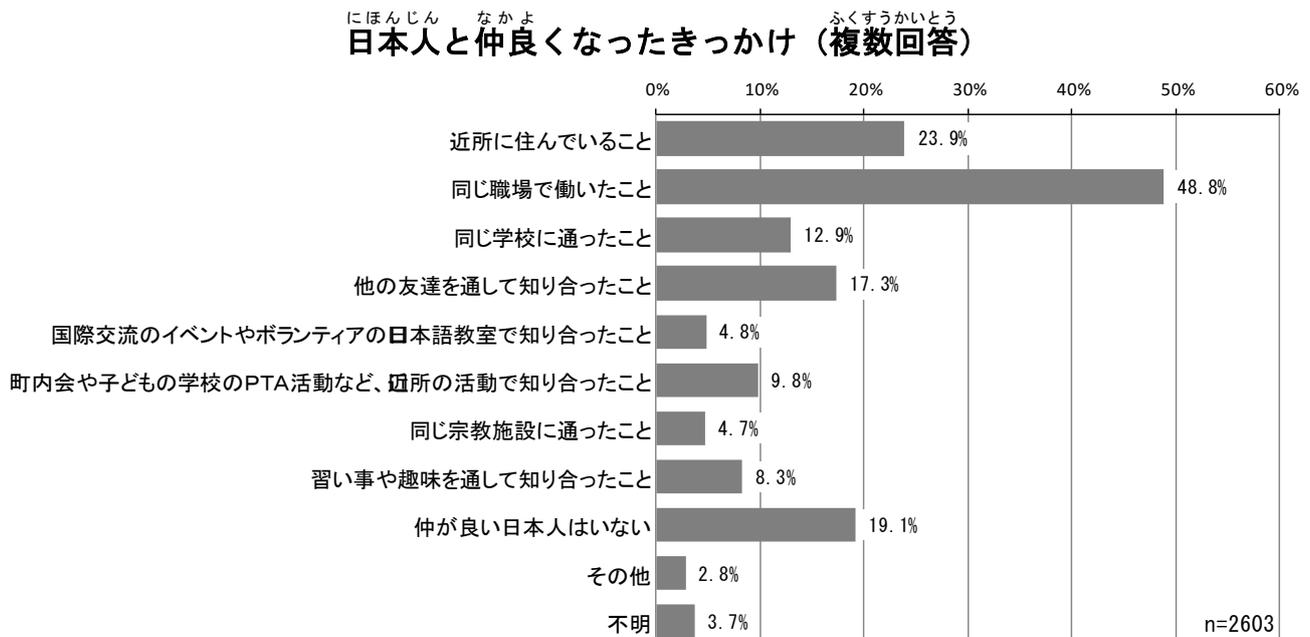
- 地域活動への参加状況について尋ねたところ、「地域の活動には参加していない」が 41.6%と最も高く、次いで「ときどき参加している」が 26.7%、「ふだんから積極的に参加している」が 16.7%となっています。
- 地域活動について、「参加しないとイケないものだけ参加しているが、それ以外は積極的に参加しない」及び「地域の活動には参加していない」と答えた方に限定して、参加しない理由を尋ねたところ、「活動がいつどこであるのか知らないから」が 55.8%と最も高く、次いで「時間がないから」が 33.5%、「活動に行っても日本語がわからないから」が 17.6%となっています。



② 日本人と仲良くなったきっかけ

Q35. あなたは現在仲が良い日本人とどのようなきっかけで仲良くなりましたか。

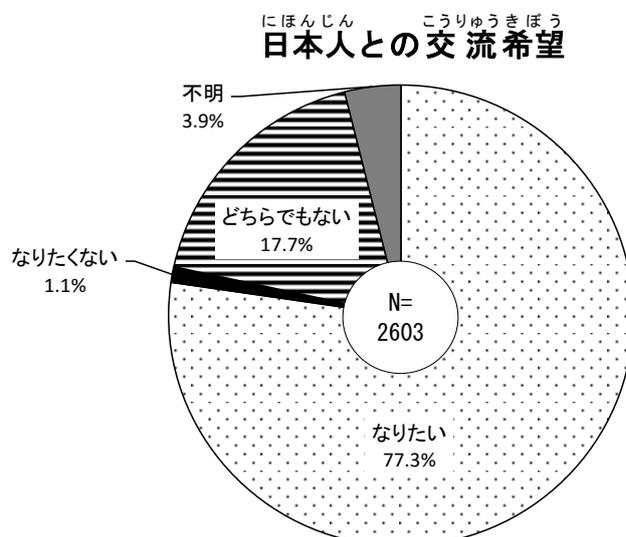
- 日本人と仲良くなったきっかけについて尋ねたところ、「同じ職場で働いたこと」が 48.8%と最も高く、次いで「近所に住んでいること」が 23.9%、「他の友達を通して知り合ったこと」が 17.3%となっています。一方で、19.1%が「仲が良い日本人はいない」と回答しています。



③ 日本人との交流希望

Q36. あなたは、もっと日本人と仲良くなりたいですか。

- 日本人との交流希望について尋ねたところ、日本人と仲良く「なりたい」が 77.3%を占めており、次いで「どちらでもない」が 17.7%、「なりたくない」が 1.1%となっています。



くるま 8: 車について

くるま しょうじょうきょう ① 車の所有状況

Q37. あなたはくるまを持っていますか。

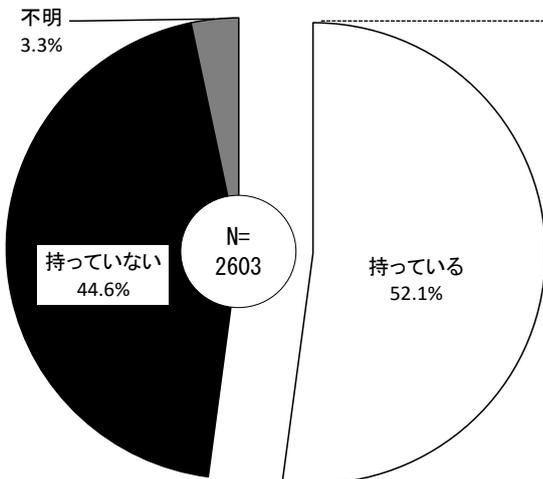
↳ (「持っている」と回答の方)

Q37-1 車の使用者名義は誰ですか。

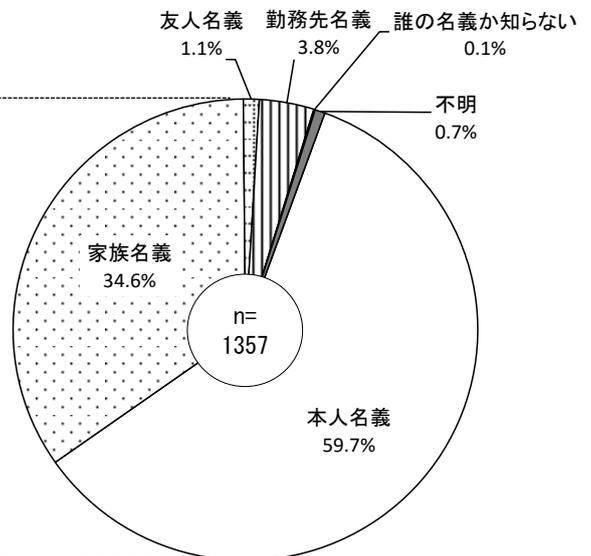
Q37-2 あなたが使用している自動車は任意保険に加入していますか。

- 車の所有状況について尋ねたところ、「持っている」が52.1%、「持っていない」が44.6%となっています。
- 車を持っている方に限定して、車の使用者名義について尋ねたところ、「本人名義」が59.7%と最も高く、次いで「家族名義」が34.6%、「勤務先名義」が3.8%となっています。
- 車を持っている方に限定して、任意保険の加入状況について尋ねたところ、「対人保険に加入している」が81.5%と最も高く、次いで「対物保険に加入している」が63.1%、「車両保険に加入している」が59.9%となっています。また、「加入しているが、何の保険に加入しているかわからない」は7.5%、「加入しているかどうかかわからない」は0.6%となっています。

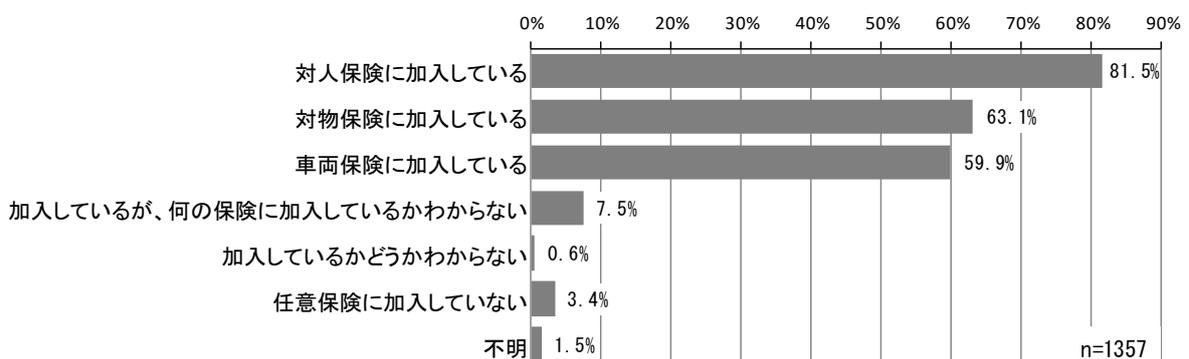
くるま しょうじょうきょう
車の所有状況



くるま しょうしゃめいぎ
車の使用者名義



にんいほけん かにゅうじょうきょう ふくすうかいとう
任意保険の加入状況 (複数回答)



ぎょうせいさ - びす

9: 行政サービスについて

① 保険や年金の加入状況

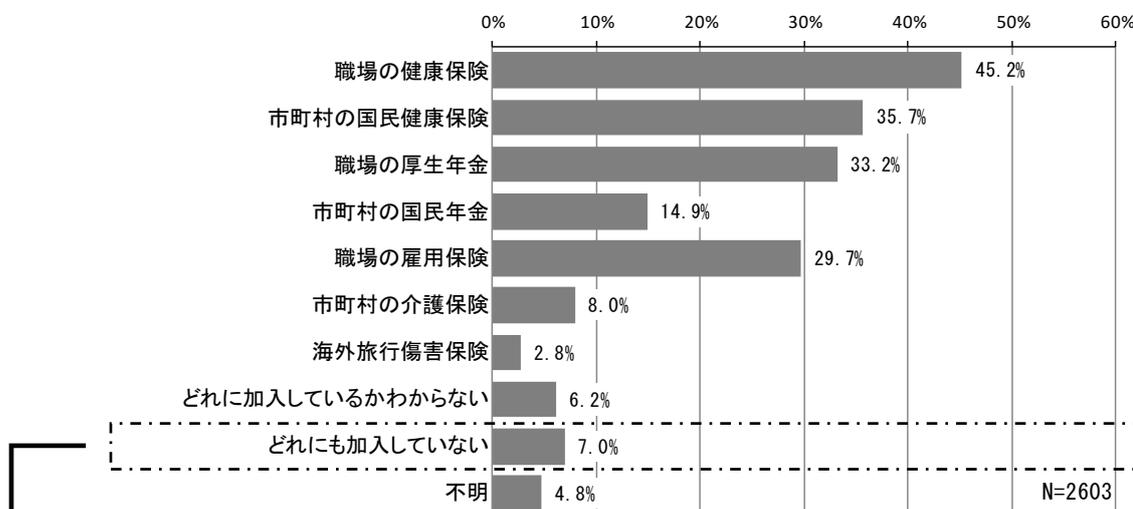
Q38. 次の保険や年金制度に加入していますか。

↳ (「どれにも加入していない」と回答の方)

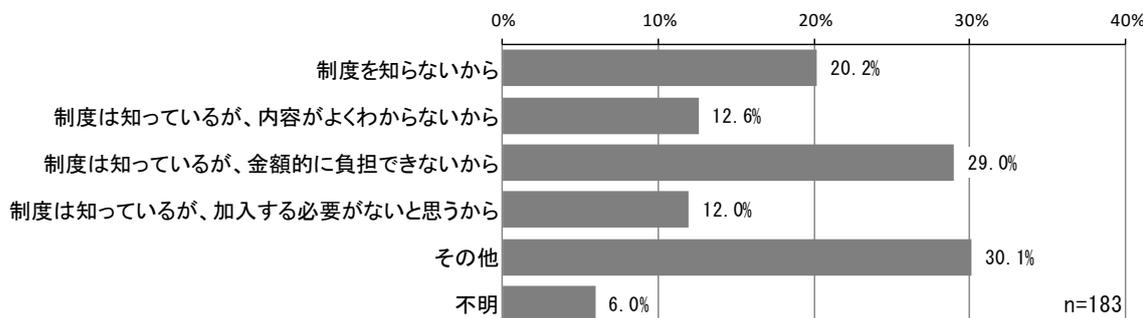
Q38-1 加入していない理由は何ですか。

- 保険や年金の加入状況について尋ねたところ、保険に関しては、「職場の健康保険」が 45.2%、「市町村の国民健康保険」が 35.7%、合わせて 80.9% が加入していると回答しています。
- 一方、年金に関しては、「職場の厚生年金」が 33.2%、「市町村の国民年金」が 14.9%、合わせて 48.1% が加入していると回答しています。
- 保険や年金について「どれにも加入していない」と答えた方に限定して、加入していない理由を尋ねたところ、「制度は知っているが、金額的に負担できないから」が 29.0% と最も高く、次いで「制度を知らないから」が 20.2%、「制度は知っているが、内容がよくわからないから」が 12.6%、「制度は知っているが、加入する必要がないと思うから」が 12.0% となっています。

保険や年金の加入状況 (複数回答)



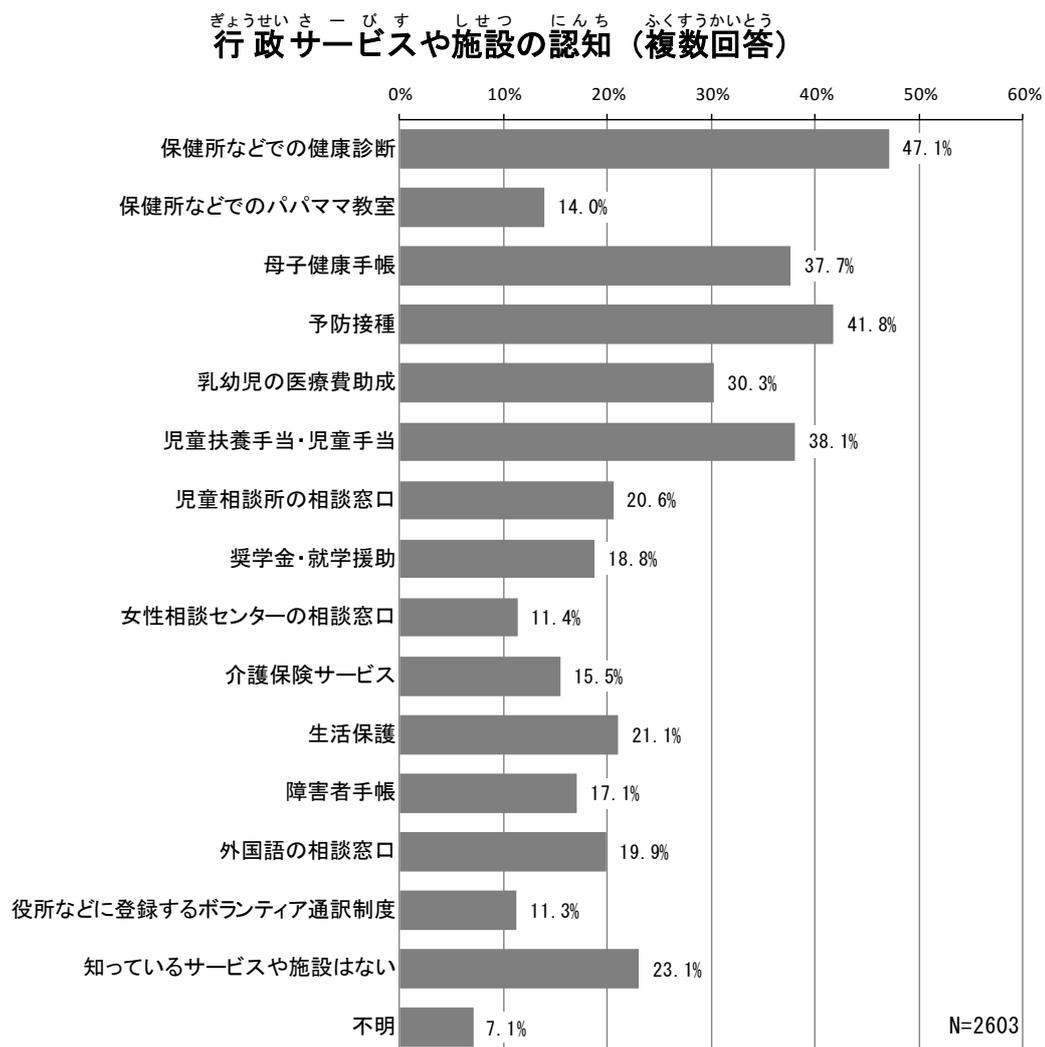
加入していない理由 (複数回答)



ぎょうせいさーびす しせつ にんち ②行政サービスや施設の認知

Q39. あなたは県や市が行っている次のサービスや施設を知っていますか。

- 行政サービスや施設の認知について尋ねたところ、「保健所などでの健康診断」が 47.1%と最も高く、次いで「予防接種」が 41.8%、「児童扶養手当・児童手当」が 38.1%、「母子健康手帳」が 37.7%となっています。
- 一方で、「役所などに登録するボランティア通訳制度」は 11.3%、「女性相談センターの相談窓口」は 11.4%、「保健所などでのパパママ教室」は 14.0%と低くなっています。

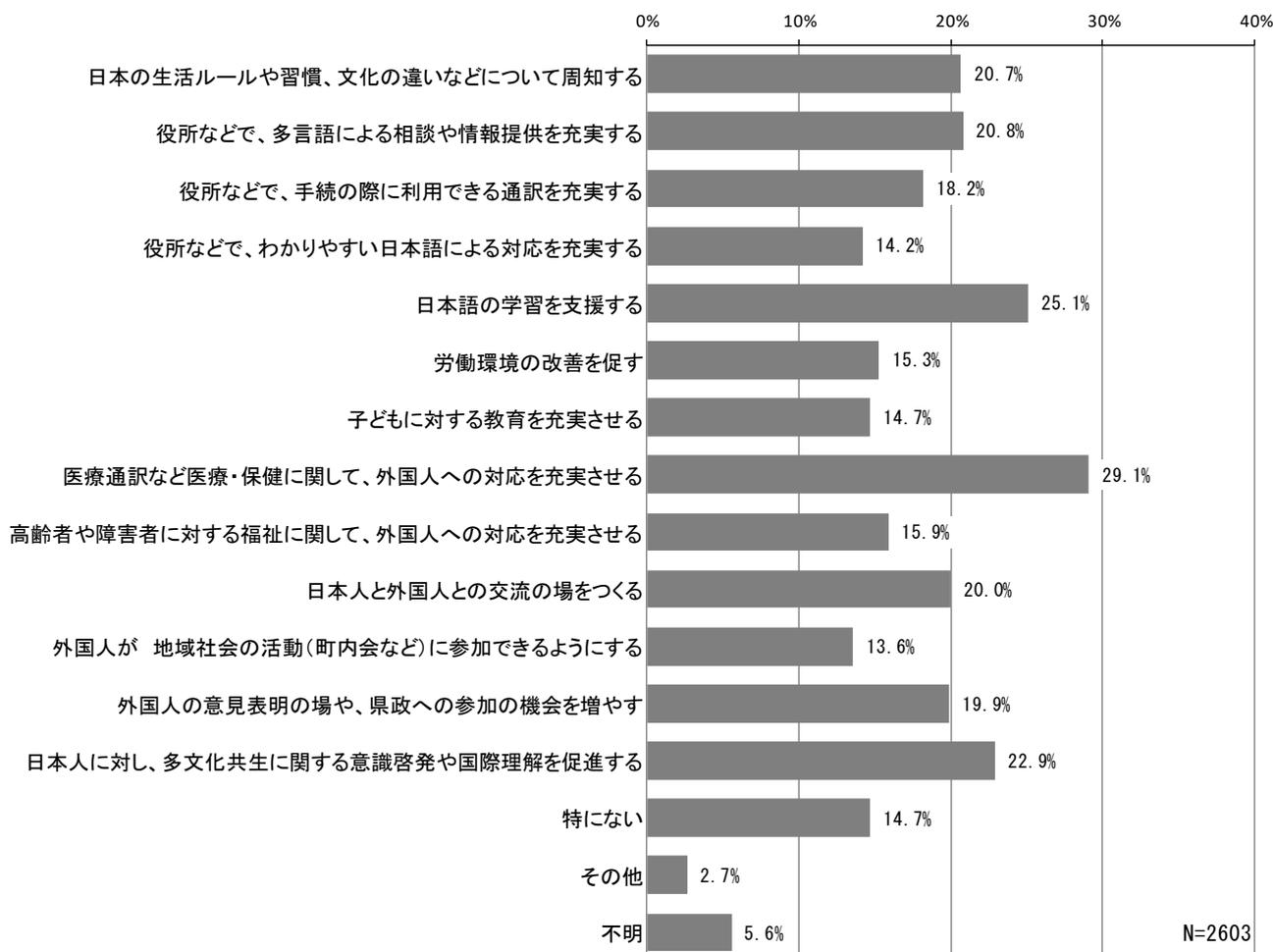


② 行政への要望

Q40. 行政の取組で、充実して欲しいことは何ですか。

行政への要望について尋ねたところ、「医療通訳など医療・保健に関して、外国人への対応を充実させる」が 29.1%と最も高く、次いで「日本語の学習を支援する」が 25.1%、「日本人に対し、多文化共生に関する意識啓発や国際理解を促進する」が 22.9%となっています。

行政への要望（回答3つまで）



平成 28 年度 愛知県外国人県民アンケート調査報告書
【概要版】

平成 29 年(2017 年) 2 月

発行：愛知県県民生活部社会活動推進課多文化共生推進室

住 所：〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 2 号

電 話：052-954-6138

E-mail：tabunka@pref.aichi.lg.jp

U R L：http://www.pref.aichi.jp/syakaikatsudo/tabunka.html